新京日日新聞
夕刊
十二月六日
發行所 新京日日新聞社

粤漢線を完全遮斷 陸鷲大擧して猛爆撃

【廣東五日發國通】南支派遣軍報道部發表＝南支陸軍航空部隊石川、鈴木、黒川、老田の諸部隊は五日午前午後の二回に亘り大編隊をもつて大擧韶關以北の粤漢線に出動、敵の機關車二、車輛十、線路の要點六ケ所及び軍需品倉庫八、燃料倉庫等を粉砕し更に同部隊の一部は廣東省北境樂昌に挺身敵の熾烈なる銃砲火を冒して爆撃を敢行、敵の軍事施設を完膚なきまでに破壞し敵の重要後方連絡線たる粤漢線を完全に遮斷全機悠々歸還せり

海鷲、南支に活躍

【上海五日發國通】艦隊報道部五日午後四時發表＝南支方面戰況＝昨三日海軍航空隊は九塘（南寧北東）において敵の猛烈なる防禦砲火をくゞり同地敵陣地及び六百よりなる敵有力部隊ならびに戰車、野砲等を攻撃しこれを爆砕したるほか貴縣、興業間道路上の軍需品滿載の貨車二百輛および約四百の敵集團を爆撃し、さらに賓陽、丁橋城、桂林、遷江各地の敵軍事施設、軍需品倉庫等を爆破何れも甚大なる戰果を收めたり

廣西省各都市空襲

【香港五日發國通】桂林來電によれば四日、日本空軍は廣西省鬱林、柳州、遷江の各都市を襲ひ多數の爆彈を投下して軍事施設を粉砕した

敵、冬季攻勢企圖 我精鋭斷乎一蹴せん

【北京五日發國通】事變以來寧日なき我が軍の掃蕩戰に依つて北支に關する限り敵は軍隊としての戰力、統制力あるものは全滅するに至り唯僅に敗殘匪團として山間僻地に遁入するの現狀にあるが、更に新中央政權の胎動北支民衆の皇軍への限りなき信頼の念はこれに拍車を加へ力強く建設の途上にある北支新秩序の壓力は蔣介石側の凡ゆる陰謀をも破砕し新たなる光明を生みつゝある、これに對し蔣介石側は必死となつて北支新生の進路を遮斷すべく本年の四月攻勢を始め七月攻勢、九月攻勢と間斷なき逆襲を試みて北支治安を攪亂し軍事的といふより寧ろ宣傳的效果を狙つて鳴物入りの攻撃體勢を示し來つた、然るに寡兵よく嚴たる整備陣を布くわが軍はその度毎に敵の逆襲を完全に撃破、これに大打撃を與へて敵企圖を覆滅したが、敵軍はこれにも懲りず更に最近秘かに多季攻勢を企圖し專ら山西省南部の同蒲線、南段及び路安平地並に豫東地區に向つて出撃體勢を示しつゝある

即ち第一戰區總司令衛立煌麾下の孫桐萱軍は最近新黄河を渡つて豫東に入込み、又かつて山西北部にあつた何柱國軍の騎兵第二軍も亦南下して新黄河を渡河し、中央直系七十一軍又中條山脈の峻嶮を踏破して澤州、高平に沿り第二戰區總司令閻錫山軍又同蒲線南段翼城汾城附近に集結しつゝあり敵軍は年末若くは正月早々を期して總反撃を開始せんとするものゝ如く、早くも豫東、晋南地方は風雲を孕んで無氣味な對立を示してゐる、而して支那軍がかくの如き攻勢を示すに至つた原因としては

一、澎湃たる中央政權樹立の氣運を妨害
一、北支治安を攪亂して民衆間より日本軍の信用を失墜せしむ
一、日本軍の進攻作戰を牽制
一、長沙戰に於いて爲した如く專ら宣傳戰に依つて戰捷を誇稱し國內的には重慶の弱體化をカヴアし外國への宣傳をなす
一、重慶政府內部の相剋をこれに依つて緩和する

等の諸點が擧げられてゐるが、これに使用される敵兵力は武漢失陥後敵が兵力の整備、訓練に努めその第二期正訓を了へた正兵と稱してゐる、これに對しわが軍は依然不動の守りを固め敵軍より攻撃し來たらこれぞ絶好の機會として所謂「多季攻勢」を待ちうけてゐる

然るに敵軍部隊には攻勢開始以前すでに地盤爭ひ、國共軍の軋轢等が傳へられ著しくその抗戰力を弱體化しつゝあり、敵軍の意氣込みにも似ず多季攻勢は早くも龍頭蛇尾の感を生じつゝあるが若し敵軍の攻勢が開始されるならばわが精鋭は一齊に起ち山西省肅淸のため壯絶なる大殲滅戰が展開されるであらう

佐藤滿鐵副總裁

佐藤滿鐵副總裁は五日午後九時卅五分新京着ひかりで來京したが、滯京中の佐々木副總裁と共に十五年度滿鐵豫算につき關係方面と打合せを行ふことゝなつた

領事會議始る

梅津大使就任最初の全滿領事會議は六、七の二日間にわたり軍司令部講堂で開催されるが、第一日目六日は梅津大使、三浦參事官兼新京總理事、瀧山琿春領事以下全滿各地駐在全領事出席本省側から土田東亞局第一課長、岩田、中村兩事務官ならびに滿洲國側田代外務局次長、尾形同參事官等陪席の上午前十時から開會、梅津大使よりまづ歐洲動亂不介入と支那事變處理一本槍の帝國外交を基調とする在滿外交機關の今後の力點及び方向につき重要訓示がありついで三浦參事官ならびに土田第一課長よりそれぞれ對ソ及び對支關係の根本的調整を中心として大使訓示を敷衍したる指示があつて正午一先づ休憩した午後は各領事側よりの管內報告があり引續き協議懇談が行はれる【寫眞は會議場】

蔣、ソ聯に哀訴 相當額の武器補給

【南京五日發國通】歐洲大戰の影響を受け惡化した佛印ルートによる援蔣軍需品の輸入はわが南寧作戰のため致命的の打撃を受けるに至つたが重慶政府は歐洲大戰勃發とゝもに早くもソ聯に支援を哀訴し西北ルートを經由してソ聯から相當額の武器補給を受けてをりその代償は一切現金拂又は現品物資の交換である、右交換物資としては大量の茶、アンチモニー、タングステン、桐油等がソ聯に輸送されつゝある

市民講座 砂糖の話【上】

滿洲生活必需品配給會社 坂上彌

砂糖は昔は藥として珍重され、今でも支那の奥地では病氣の時でなければ白い砂糖は食べないと云ふ樣な處も有る樣であるが、王道樂土滿洲國では日本と同樣完全な生活必需品となつて、一日でも砂糖のない生活と云ふものは考へられなくなつて一國の砂糖の消費量は文化の尺度であると云はれてゐるが、滿洲國も建國當時に比すれば人口も増加してはゐるが、その消費量は約四割近くの増加を示してゐる。それでも康德五年度一人當りの消費量は五斤二三で、日本內地の二十五斤に比すれば僅かに五分の一に過ぎず、從つて今後數年間の消費量の増加は相當なものとなるであらうと思ふ。

砂糖の種類は原料に依つて、甘蔗糖と甜菜糖との二つに大別されてゐる。

甘蔗糖と云ふのは台灣、南洋、布哇、印度等暑い地方に生育する甘蔗俗に云ふ砂糖黍を原料としたものであり、甜菜糖と云ふのは北海道や現在戰亂の巷となつてゐる歐洲諸國に出來る甜菜俗に云ふ砂糖大根を原料としたものであつて、我が滿洲國でも近年この生產額が大分増加して來た。

甘蔗糖は砂糖黍を搾り、その搾り汁よりつくるのであるが、日本でも領臺以後同地に近代的な製糖會社が澤山出來て急速に進歩し、現在では台灣の新式工場だけでも一ヶ年に二千萬擔（一擔は日本の百斤）以上の砂糖が出來その他の南洋沖繩等各地の生產額を合せば外國の御厄介にならずとも優に日本全體の消費を充たして圓ブロックの消費の大部分までも賄ひ得る樣になり、完全に自給自足の域に達したのである。

甜菜糖は日本ではその產額は見るべきものなく、北海道、樺太を合せて約七十萬擔位である。滿洲でも甜菜糖の製造は古く大正八年頃から行はれて居たが、その發達は遲々として進まなかつたのである。然るに滿洲國建國後漸次增加し建國當時に比べると昨年度の如きは實に五倍位になつてゐるが、それでも全產額は三十萬擔位で全滿消費量一年二百萬擔の二割にも達しない情ない有樣で、不足分は全部日本からの輸入に仰いでゐる譯である。

しかし日本の消費も毎年增加する一方だし、又日本の砂糖は滿洲と同じく圓ブロックをつくつてゐる北中支にも供給せねばならぬから、滿洲としてもいつまでも日本に頼るべきではなく一日も早く國內の糖業を發達させて自給自足の域に達しなければならないと思ふ

さて滿洲で一般家庭に主に使はれて居る砂糖はどんなものかと云へば精糖（俗に云ふ三盆白）白双目糖、赤双目糖、中双目糖（黄双）等が主なものであるが、一番多いのが精糖である。

精糖は滿洲で出來る甜菜からも出來るが、これは前にも書いた樣に數量も少く大半は日本から輸入されるのである。この日本から來る精糖は台灣で出來た中双種を態々日本內地の製精糖工場に持つて行き、そこで今一度熱を加へて溶解してつくると云ふ非常に手數のかゝる不經濟な方法に依るものであつて、最近の石炭の消費制限に依つて來年からはずつと供給は減ることゝ思はれる。

オ島の武裝强行 芬蘭政府公式聲明

【ヘルシンキ五日發國通】フインランド陸海軍は四日夜一九二一年の國際會議で非武裝地域と定められたオーランド島を軍事的に占領フインランド政府は直ちに右の旨公式聲明を發した、因みにオーランド島は曩の世界大戰後ロシアより獨立せるフインランドの所屬となつたが、同島が戰略的地點に位するためスウエーデン、フインランド間の係爭地點となり一九二一年英佛獨の斡旋により同島の非武裝を條件に所屬することに決定せられたが、本年に入つてフインランド政府は歐洲政局激變に對處するため同島の武裝化を決意しソ聯の猛反對にあつてこれを延期今日に至つたものでフインランド政府はソ聯軍の進撃を前に緊急已むなしとして同島の武裝を實行したものである

英國汽船沈沒

【ロンドン四日發國通】英海軍省四日發表＝イーストマン汽船會社所屬船ドリック・スター號（一〇、〇八六トン）は四日南大西洋上においてドイツ袖珍戰艦とおぼしき敵艦の襲撃を受けたが恐らく撃沈されたものと推測される、同船はニユージーランド、濠洲より英國へ歸船の途にこの災厄に遭遇したものである

【ロンドン四日發國通】英國商船エスクデイン號（三八二九トン）は四日スコツトランド沖で機雷に觸れ爆沈した、なほ同日英商船レアズグレン號（一、二七六トン）およびフインロホーノ號（一、一二一トン）はスコツトランド西岸沖合において衝突し兩船とも大破したと傳へられる

【ロンドン六日發國通】イギリス石炭輸送船オースケツド號（一六七〇トン）は四日北海に於てドイツ潛水艦に撃沈された、同船の乘組員十三名は救助されたが死者三名、行方不明五名を出した

諾、瑞、丁三國會談 オスローで近く開催

【オスロー五日發國通】ノルウエー政府は五日ハルヴアン・コホト外相の名を以てデンマーク外相ムンク氏及びスウエーデン外相サントラー氏に招請狀を發しソ芬兩國の和平斡旋の方式を協議するため近くオスローに三國外相會議を開催したき旨申し送つた、デンマーク、スウエーデン外相は右招請に應じ七日オスローに到達直ちに三國會談を開催することゝなつたなほ今回の三國會談は去る十月オスローに開かれた北歐四國會談の延長と見られフインランドの國際聯盟に通牒せる規約十六條適用問題に對する三國の共同態度をも檢討する筈である

憂國の士吳將軍 汪精衛氏の哀悼談

【上海六日發國通】吳佩孚將軍が四日北京において病逝せることは各方面に多大の反響を呼んでゐるが、和平救國運動に邁進しつゝある汪精衛氏は五日左の如き談話を發表し深甚なる哀悼の意を表した

自分は吳佩孚將軍とは遂に面談するに至らなかつたが吳佩孚將軍の高潔なる人格に對してはかねて敬服してゐた次第であります、最近は和平救國運動に關して書翰の往復を致してをりましたが、將軍の國家を思ふ至誠の情は文面に溢れて感銘誠に深きものがありました今後相共に協力して困難に打ち克たんことを期待してゐましたのに、はからずも忽然として逝去されたことは哀悼の情に堪へず、たゞわれ等と致しましては和平運動に對しますます努力しもつて救國救民の本領を完成せんことを願ふのみであります

臨終の床に憂國の熱情 吳將軍の最期

【北京五日發國通】「落ちた巨星」吳佩孚將軍はその稀世の大人格に相應しく最後まで國事を憂へつゞけた四日午後二時風寒く陽光淡き什錦花園の私邸の二階に靜かに横たはつた將軍は枕頭に侍する張夫人、嗣子道時氏をふり返つたかふと一黨の將雁行氏以下日支の同志達が同室してゐることに氣がつき落付はらつた低聲で次のやうに言つた

余はすでに咽喉を痛めて多くを言ふことが出來ない、しかし余は病癒ゆれば君等と協議の上必ず出山して共に浩劫國家の大難を挽回する

語尾はかすかに聲はかすれて聞きとれぬが如くであつたが浩々たる憂國の熱情は四邊を拂ひ深く人の胸をうつものがあつた、將軍再びもの言はず幽魂は星の夜の空に還つた、病勢惡化を知りつゝも西洋流の外科手術を背んぜず同仁會寺田博士德國病院ホルド博士等の執刀を最後まで拒みつゞけ藥は凡て枕頭の抽出に入れたまゝであつたといふ生涯租界の土を踏まなかつた將軍らしい最後である、そつと掛けられた紫紺の掛布團が高潔な故將軍の遺德を語るかに淡い電燈に映えてゐた

鮎川滿業總裁歸任

鮎川滿業總裁は約二ケ月の滯日を終へ五日午後五時半新京着連絡機で歸任したが時局經濟の諸問題について左の如く語つた

△資材調達 滿洲の生產力擴充に必要な資材の對日期待については日本政府の資材振當重點主義政策に依つて大いに左右される、即ち日本政府では歐洲動亂勃發當時物資輸入の前途困難を見越して早急輸入の手段を講じたので生產素材や機械部分品等の外國よりの輸入に付ては今までのところ世間で考へるより打撃が尠くて濟んでゐるが、物資、爲替の振當てに關しては生產設備の擴張よりも今までに出來てゐる設備を動かすことに重點を置いてゐる、つまり運轉資材をなるたけ多く手當するといふ方策である、從つて滿洲の生產力擴充に必要な資材手當は石炭とか銑鐵とかの樣に日本の現在生產力を動かすに必要な物資を造る產業に付ては比較的に資材を多く振當てゝ貰れる譯だ、歐米からの物資輸入の前途については向ふで物を與れるかどうか、また輸送の方法がつくか否かなど種々問題があつて今までのところまだはつきりは判らぬといふのがほんたうだらう

△輸出貿易 參戰國への輸出貿易については中立國を通じての輸出に力を注げば大いに進展するゝ自分は思ふが日本の國內物資との關係に大變困つた問題がある、外國の物價が日本の國內物價より高くなつてゐるので輸出をどんどんやれといふことになると國內の物資がみんな外國に流れて了ふ、綿製品や生絲にしろその他のどの輸出物資にしろみなさうで今でさへ國內で不足してる物資がこれ以上尠くなつたら大變な問題で低物價政策もこの點で大きな惱みが感じられる譯だ、誰がやるにしても仲々難しいものだらうと思ふ

停戰以後は浦鹽も平靜に 宮川總領事來京

賜暇歸朝中の宮川浦鹽總領事は五日午後九時四十五分着ひかりで來京、三浦駐滿大使館參事官、成田書記官等に出迎へられて總領事館官舍に入つた、約一週間に亘り新京、哈爾濱方面を視察ののち歸日するが驛頭で語る【寫眞は驛頭の宮川總領事】

抑留船釋放問題その他二三の問題も一先づ形がついたし、ウラヂオに赴任する時前任地のモスクワから眞直ぐ行つてしまひ本省との事務打合せもすんでゐないのでその用件もあり今度[illegible]ノモンハン事件の影響の行動監視ほかウラヂオからいろいろ感じられつて來る[illegible]はその緊張といふ平靜にノモンハン成立以來日ソ次第好轉しつゝからこの狀種々な懸案解決ースに行くと思ふ、[illegible]

芬潛艦撃沈さる

【モスクワ六日發國通】五日附プラウダ紙の報ずるところによればソ聯海軍は五日ホツクランド島沖合においてフインランド潛水艦一隻を撃沈したといはれる

瑞典軍隊動員

【ストツクホルム五日發國通】ソ芬紛爭事件勃發以來スウエーデン軍の動員が傳へられてゐたが、五日に至りスウエーデン政府は初めて同國軍隊の一部動員の事實を公表した

蔣、佛大使會談

【香港五日發國通】重慶來電によれば目下重慶にある駐支フランス大使コスム氏は去る三日蔣介石を訪問、會談を行つた、コスム大使の蔣介石訪問は來任以來これが最初である

人事往來

着京

▲小柳雪生氏（官吏）四日來京ヤマトホテル
▲熊田正路氏（同）同
▲井内淸雄氏（同）同
▲田村茂氏（同）同
▲木村常太郎氏（會社員）同
▲小日山直登氏（昭和製鋼所長）同
▲佐藤健雄氏（會社員）同
▲新帶國太郎氏（同）同
▲坂本峻雄氏（同）同
▲福井道二氏（同）同
▲古川仁左衛門氏（請負業）三國ホテル
▲川口七郎氏（會社員）同
▲伊藤桂氏（ガデリウス商會）國都ホテル
▲鈴木鐵男氏（貿易商）同
▲山本正美氏（會社員）同
▲谷口卓氏（哈爾濱日本總領事館領事）同
▲前川繁雄氏（官吏）蓬萊ホテル
▲根本藤代氏（同）同
▲井上正夫氏（滿鐵社員）同
▲佐久馬靖一氏（官吏）同
▲山根禮二氏（會社員）大[illegible]ホテル

出發

▲野田彌之郎氏（會社員）同向
▲望月實氏（同）同
▲小林孝一氏（北滿殖產常務）同
▲大辻富三氏（商業）大陽ホテル
▲秋間重藏氏（會社員）同
▲佐藤秀雄氏（商業）同
▲中島博氏（材木商）同
▲中島九平氏（官吏）滿蒙ホテル
▲日比文雄氏（會社員）同
▲吉田勇氏（材木商）同
▲松近三郎氏（會社員）同
▲西川英之氏（同）同
▲島影力氏（同）同
▲丸山良一氏 四日內地へ
▲齊藤董福氏 通化へ
▲白谷榮次郎氏 大連へ
▲金森虎男氏 哈市へ
▲芦田定次郎氏 東京へ
▲田中知平氏 奉天へ
▲丸尾成行氏 東京へ
▲竹内松次郎氏 哈市へ
▲古閑正雄氏 奉天へ
▲中澤信三郎氏 同
▲平野孝造氏 哈市へ
▲玉置米次郎氏 同
▲稻田幾次郎氏 奉天へ
▲興津榮枝氏 安東へ
▲渡邊義一氏 奉天へ
▲新島武則氏 同
▲松田尚三氏 同
▲森田倫次氏 牡丹江へ
▲山根一樹氏 大連へ
▲平田秀彦氏 奉天へ
▲天野正一氏 大連へ
▲佐藤秀雄氏 同
▲毛利文雄氏 奉天へ
▲河野甚吉氏 吉林へ
▲小柳貞雄氏 奉天へ
▲井戸川春元氏 東京へ

その日く

戰爭は最高の政治なり、ソ聯こそそれを今しみじみ味はつてゐよう

◈

尤も重慶あたりでは、戰爭こそ自滅の因と觀念してゐるが

◈

新しい三民主義よ、ねがはくば四億民衆を救つてくれ

◈

その長い陣痛か、生れ出るものの健かさを意味することを祈る

◈

街燈を半分にする、それだつてあの燈火管制の頃に比べたら、ね

市公署の施粥

市公署社會股では去る十一月一日から三月末日まで東三馬路、孟家橋、寛城子、南新京の四ケ所において施粥を開始して年末の寒空に慄へる貧民達に温い同情を寄せてゐるが、兩所には無料宿泊所設備も施されてゐる

雪のお化粧直し 豫報は寒いぞ！

六日午前五時半から國都にははだ寒くも快い粉雪が音もなく降り始め昨五日の珍しい暖氣で醜く殘雪のとけた街々をみるみるうちにお化粧直しゝて市民をよろこばせた、中央觀象臺豫報科では

雪が降つたと云つて驚くには及びません、けさの最低氣温は零下七度七分きのふの最低零下八度四分よりまだ暖いわけですが高氣壓はホロンバイル方面と三江省にありますが錦州北方に低氣壓があつたゝめ北東と南西に延びる不連續線が出來、こんな悪識な雪を降らしたのです、六日中はこの小雪がさらつくでせうが七日はすつかり恢復して寒さも加はるでせう

と相變らず明日こそ寒いぞと警告してゐる

兒童創案品 特許を申請

さきに滿洲發明協會において全滿兒童、生徒から公募した創案品は意外の優秀品があつて審査員一同を驚嘆させたが、同協會ではこの程優秀作品のうち實用化し得るもの約十件を選出し各學校長を通じて本人及び保護者の諒解を得たうへ特許出願することゝなつた

なほこれに要する出願費（特許十圓、意匠登錄五圓）および最初の登錄料（十五圓）は協會において負擔するといふ劃期的試みで發明思想普及をはかることゝなつた

協和會指導科長會議

重要議題協議のため豫定を一日繰り延べた最終日の協和會全國指導科長會議は五日午後三時から中央本部第一會議室で開催、皆川總務部長、牛田委員長以下各省指導科長等三十館名出席の下に

一、各種團體の輔導方針
一、銃後々援運動方策、
一、會務機構の整備問題

等の議案につき愼重なる方策の檢討並に懇談を遂げ午後六時散會、これをもつて一、二、三、五日四日間にわたつた指導科長會議は玆に終幕を遂げた

建築資材を割當
餘分購入制限の爲證明書發行
闇取引防止の名案

首都警察建築科では住宅難資材難につけ入る闇取引防止のため建築申請者に對しては今後資材割當證（假稱）を發行、提出建築圖面により必要と思惟されるだけの建築資材を記入して許可を與へることゝなつた、この名案により一部建築業者が資材を餘分に購入し剩餘分を闇取引に提供してゐた悪弊が一掃され住宅難の緩和をみるものとして活用を期待されてゐる

港で無錢飲食

鄭家屯居住日本橋通七五國華ホテル止宿中の洲濱恒（三二）は五日午後九時三十分頃から日本橋通六五カフエー港で飲酒し看板までに十七圓二十八錢を飲食したが、懷中に一錢も無く日通派出所へ突き出され取調べの結果國華ホテル宿泊代二十圓並に京タク［illegible］

市井論義

今日は官僚獨善の時代である、だから吾々民衆が考へてゐる事と大分かけ離れた事でも善政なのかと思はれる樣な事がらが平氣で行はれてゐる場合が多い▼先頃から一部の間に問題となつてゐた新遊興飲食税問題はすつたもんだの揚句漸く表面だけはケリが濟いたが、更に傳へられるところによると、あれ程の高率な税金を課したにもかゝはらず花柳界、カフエーは依然として千客萬來の盛況振りであるからまだ／＼自肅自戒が足りない▼それぢや閉店と閉店の時間的制約によつてトッチメテやらうといふのだらうだが、かうなつて來ると自分達には官僚のやつてゐる事が段々馬鹿々々しくなつてきて、一層花柳界、カフエーなどの營業は全然許可取消をして了つた方がサバ／＼するのぢやないかと思ふ▼内地でもこの事では大分アタマを痛めた官僚があつて學生の花柳界、カフエー、ダンスホールなどの出入を嚴禁して、これを以て所謂學生の自肅自戒成れりと聲高々とした御仁があつたが、却つて反撥された學生連が背廣に着替へてこれ迄通りセッセと通つたのであるから何等の效果はなかつたのである▼この樣に何んでもかんでも表面的な精神の無い規則づくめで行かうとし、果ては人間の心理までも制約しようとする處に官僚の獨善主義的誤謬がある▼世の中は官僚が考へてゐる程甘いものではなく、又左程甘いものなら誰しも苦勞などといふものをしないで相濟むのだ、政府の大官が部下に訓示でもした場合官僚の通例として内容の是非にかかはらず肯定され、この特權社會だけには通ることがあつても、その儘直譯されて世の中に通用するかといふことになると甚だ疑はしいのである▼市井子は今更遊興税問題の是非を論義しようとするのではない、それは唯如何に官僚獨善の思想といふものが近來瀰蔓してゐるかと言ふことを言ひ度いまでである

客足は減つたさてどうなるか
遊興税問題の行方

時局の線に即應して國民の奢侈を戒めると言ひ、或は死活問題だと叫びつゝ去る一日から歡樂街に爽颯と登場した遊興飲食税の影響については多大の注目が拂［illegible］

［illegible］

新京驛の虫を一般人が引捕ふ
防犯協力に當局大喜び

雜沓する新京驛待合室に巢喰ふ置引、掏摸が五日午後何れも被害者、一般人に逮捕され警護隊驛詰所に引渡されたが、迫る師走に備へて一般人の防犯觀念が徹底したことを如實に物語つてゐる、即ち▲五日午前九時三十分頃新京驛構内材木線第二番線中央北側から窃約三百斤（二十圓）［illegible］王景蕃（二〇）で貨物拔取りの常習犯である▲同日午後十一時十分頃三等出札口で切符購入中の滿人紳士の手から百圓札を三枚掠奪して逃げて行く滿人男を永樂町三ノ一七旅館ポーター崔命慶君が捕へて詰所へ突き出した、右は頭道溝興安胡同九號大工姚金水（二二）で待合室で置引を專門に働いてゐたもの▲同日［illegible］

―不滅の勳國境に咲く―
ノロ高地死守
吉田大尉以下の血戰

ノロ高地を死守して敵の大規模な逆襲を寡兵よく擊退し壯烈な戰死を遂げた長谷部部隊杉山隊吉田米利大尉以下の壯烈悲愴なる血戰はノモンハン事件を永久に飾る軍人精神の精華として永く銘記さるべきであらう、八月七、八、九の三日間敵はノロ高地に對し大規模な逆襲を企圖、その主要攻擊目標を長谷部部隊の中央地區隊たる杉山隊の位置する七四二高地を重點中の重點とし川又以東の全砲火を集中、三日三晩殆んど間斷なき砲擊を加へ來つた、死んでもこの高地を離すなと死守を決意の將兵は一瞬、一食もせずくたくたに疲れ互に勵ましながら血戰を續け敵をして遂に同高地攻擊を斷念させた、越えて八月廿五日に至るや數百の敵左側高地上より砂塵をまいて襲擊し來つた、小癪なと吉田大尉は部下を提げて敢然これに突入したが、地の利を得た敵は山上より手榴彈を雨と降らし陣頭に立つた吉田大尉は「天皇陛下萬歲」を叫んで壯烈な戰死を遂げた、「おのれ、吉田〇隊長の仇」と續く將兵は我遲れじと突入し吉田大尉の傍で一兵も殘さず壯烈な戰死を遂げた、遙かにこの有樣を見た右翼の内藤節二中尉は最早これまでと愛刀ギラリと拔き放ち部下數名を［illegible］

再度第一線へ
不屈の東城上等兵

八月廿日ノロ高地の激戰で終始、部隊の先頭にあつて指揮をとつてゐた猪狩軍曹は飛來した一彈に壯烈な戰死を遂げた、輕機關銃の名射手として謳はれてゐた東城忠五郎上等兵は直ちにつて指揮に當つてゐた［illegible］

寡兵敵を擊退
渡邊上等兵

［illegible］

闇の敵陣突破
一兵損ぜぬ中村上等兵

［illegible］

冬休學習帳で勉強

［illegible］

强盜犯人一夜で捕まる
歲末の犯罪頻々

［illegible］

留守中盜難

［illegible］

婦人講座
保健館で開設

母性教育と婦人の家庭生活向上を目指して錦町健全生活館では毎週一回（水曜日）常設婦人講座を開設することゝなつたが、けふ六日その第一回を開催した、講習課目は妊娠衞生▼育兒▼家庭衞生▼家事經濟▼榮養學概論▼趣味（服飾美術、手藝、染色、編物、室内裝飾等）で講師は田中館長以下斯界の權威者が擔當する、お母さん方の參加を要望されてゐる、尙希望者は健全生活館庶務部へ口頭または電話（三―四四〇六）で申込まれたいと、四歲以上の幼兒同伴の場合、幼兒は館内の子供クラブ保育部で保育奉仕をし、晝食希望者には榮養指導部調理の榮養食を實費で給食する便が興へられてゐる（實費は講義中の常設婦人講座）

二千六百年慶祝初の打合せ

皇紀二千六百年を慶祝して日滿一德一心の意義を深からしめるため、さきに結成された慶祝委員會は九日午前十時から國務院で委員長張總理以下各委員出席して開催、記念並に慶祝事業の打合せを行ふ

女給逃走

ダイヤ街カフエー新世界女給下西満枝（一九）は五日午後三時頃買物に行くと稱して外出したまゝ前借五百四十圓を踏倒して行方を晦したので店主より中央通署へ取押へ方願ひ出た

佐々木副總裁

佐々木滿鐵副總裁は六日午前八時新京驛着列車で要務打合せに東京した

栗山大使夫人

動亂の歐洲から歸國の途次新京に立ち寄り一泊した栗山ベルギー大使夫人房子さんは愛兒英子（一三）［illegible］

かぜトブいう 一番よくきく 橋本散

（九）さんを伴ひ六日午前八時十分新京驛發朝鮮經由歸國の途についた

大毎三池氏本社へ榮轉

大阪毎日新聞社滿洲通信總局長三池亥佐夫氏は一日附で本社歸還東亞通信部副部長を命ぜられた、尙後任は東亞通信部勤務社員（副部長待遇）小林英生氏に決定、本月中旬頃更任の筈

新京專賣署移轉

新京專賣署は四日市内大和通二番地元官舍新京取引所跡の建物に移轉事務を開始した

三浦日本水產支店長

式會社滿洲營業所は今回支店に改め所長取締役三浦計氏が支店長に就任した、市内豐樂路二〇一日本水產株

公示催告

康德六年（寅）第一一八號
新京特別市富士町五丁目拾番地
昌圖公司新京支店長　申立人　小林政二
左記證券ノ所持人ハ康德七年六月十日午前十時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且證券ヲ提出スベク若シ右期日迄ニ屆出ヲ爲サザルトキハ直ニ證券ノ無效ノ宣告ヲ爲ス

證券ノ表示（但重要ナル部分）
一、證券ノ種類　貨物引換證
一、證券ノ番號　第四七〇號
一、證券作成地　南滿洲鐵道株式會社
一、證券ノ發行者　關東州吾妻驛
一、證券作成年月日　昭和十四年十一月十三日
一、荷送人　昌圖公司
一、荷受人　建設工材社支店
一、發送年月日　昭和十四年十一月十三日
一、運送品ノ種類　鐵製編手
一、荷造ノ種類　叺

康德六年十二月一日
新京區法院
審判官　野口榮一郎

萬華鏡

チヨツコン日盛りを超過して入つたのが吉野町の日輪であつた

左にマガヒ物のバーがあるマダムと威勢のいゝ様な温しい様な接客主任らしい男が一人客は先日不幸のあつたマダムに御弔みを申した坐つたテーブルが一番、順の女給さんがあや子さん、とても〳〵雪の如く色は白い、御國はと問へば鹿兒島とて薩ヨと云ふ、鹿兒島にしては白くなくて黒いのが通り

言葉ではありませんか、白い鹿兒島薩なんて餘り自慢にはならないネと言へばオナメデナイデスヨとヤツイウインクを贈つてくれた、嬉しいウインクで氣をよくして飲み始めタデス、勘定は相當額に上りマダムを喜ばせたのもあや子さんの腕デセウ▼次に一寸客の氣持を悪くするのにまり子クンとても口が悪い、然し氣はテキパキとしてテンホ、初對面は誰しも不愉快だが話してゐる中にダン〳〵よくなる、チト手強く普通の客は嫌だがストレンジア(變人)には好感を持てるデス

變人よ!挑んだら又よき鴨かも判りません▲酔へばベソ〳〵と泣く泣き上戸さん誰かと思つたらグランド扶桑の廣子殿、私くやしくて堪へられないノヨ彼氏と來たら口では君の愛情を信ずる僕は決して他に君以外の女と結婚しないと云ふ矢先き、何デス!この頃チヤント二人の新ホームよ、聞くのもデベソ迄が怒り出すのよ、クス〳〵と泣くデス、ヘソで泣いてゐるやうな離です、彼氏よ彼女の氣持を察してやり給へ

鐵血慧心

▽滿映作品日本版、滿洲國警察官の活躍を綴つた活劇的ストオリイに王道警察の眞髓を謳歌した國策映畫、高柳春雄のシナリオにより山内英三が演出、李香蘭、隋尹輔が主演する、長春座八日封切

……要配役を決定し近く富川一夫カメラで開始する

▽「くらげ」「生活の探究」「小島の春」「草徑」等の作品を發表した東京發聲は更に陶劇文の代表小說を八木保太郎作品第廿一號として明春映畫化と決定した、これは特に題名を一般から募集する

▽成瀬巳喜男が山田五十鈴の爲めに特に書卸しの東寶に於ける初のオリヂナル脚本は岸松雄の應援で愈よ脱稿した、これは山田が寄席の娘に扮して下町調を横溢させるもので「花ちりぬ」「むかしの歌」の石田民三が山田との第三回コンビで演出する筈と

入選作品は全部伊太利物

コンクールにも戰爭の反映

今夏八月開演された伊太利民衆文化省主催のベニス國際映畫コンクールは「土」「燈れる夜の舞踊會」(獨逸)「上海陸戰隊」(日本)「ミカド」(英吉利)「旅路の終り」(佛蘭西)等各國の代表的作品が出品されその結果が注目されてゐたが、不幸歐洲戰亂の發生で審査不能に陥り、同委員會が再度にわたる釋明を求めてゐたところ此の程同委員會は左の如く全部伊太利映畫による入選を發表した

第一位「救世主アブナ」
第二位「モントベルジーニ」
第三位「蝶々さんの夢」

即ち伊太利以外の各國映畫の落選は言ふ迄もなく歐洲政情に左右されたので同コンクールの公正を信じて來た各國關係者にとつては全く意外な結果である、右につき日本映畫を出品した國際文化振興會では語る

審査延期と同時に本會の佐藤代表は歸國の途についたのでどんな經緯でこの決定を見たのか判らないが、伊太利の中立維持がこの結果を生んだものと思ふ日本からの出品フイルムは未だ尚コンクール事務當局から返送されてゐないが、駐伊帝國大使を通じて近く返送されよう

香ひも映る

發香映畫の完成

スイス技師の發明による「發香フイルム」の試寫會が四日ベルリン市において新聞記者團立會ひの下に開催され一大センセイションを捲起した、この「發香フイルム」とは、例へばスクリーンにバラの花を映すとそのバラの花の香りが映畫を通じて觀衆に知覺されるといふ重寶なもので、香ひも四千種類以上は映すことが可能だといふ、このフイルムで乙女のクローズアップでも映れば、むんむん乙女の體臭までも感じられるわけで映畫の革命とも言ふべきであらう【ベルリン發國通】

內地映畫便り

▽大船が春蠶頭に放つ大作野田高梧オリジナル・シナリオ、野村浩將監督の「新妻開答」の配役は左の如く決定した

藤井謙造(河村黎吉)夫人(吉川滿子)弟謙太郎(三井秀雄)松浦弘(上原謙)お光(三浦光子)林文吉(坂本武)夫人(岡村文子)文夫(日守新一)

▽松竹京都秋山耕作監督の「親言太閤記」は左の配役が決定した、桝谷悦郎カメラで着手

織田信長(海江田讓二)木下藤吉郎(藤井貢)前田犬千代(本郷秀雄)藤井又右衛門(坪井哲)娘彌々(伏見信子)上島主水(天野刄一)

▽新興東京持尾の大衆的異色篇青山三郎監督、草島平井、立川、加賀主演の「女劍戟三人娘」は三女優女劍戟王不二洋子の指導を受けたが更に實地撮影に當り同社老練女優明清江の娘で不二洋子と共に淺草で活躍する近衛八重子を毎日セットに迎へ直接指導を受けてゐる

▽日活京都マキノ正博と片岡千惠藏のコンビが年內に製作する「風流歌合戰」は「鴛鴦合戰」の改題、テイチク歌手を交へた主

海外映畫短信

△メトロ今年度の短篇製作陣は百五十萬弗を投じて七九本を製作する旨發表したが之を種類別にすると「Gメンを語る」シリーズ六本、ピート・スミス解說のスポーツ、娯樂、時事的話題を描くもの十三本、歷史上の偉人を描くジョン・ネスビックのパツシング・パレード・シリーズ八本、ロバート・ベンチレイ解說の實寫物四本、心理學短篇九本、フイツ・パトリツクの色彩風景短篇十二本、ヒユー・ハーモン、ルドルフ・アイジング合作色彩漫畫十八本、立體映畫一本、「今日のニユース」シリーズ八本である

雜音

新京キネマの「牢獄の花嫁」は日曜日の峠を越してもなほ強調な客足を見せてゐる▼受けるやうに、面白くなるやうに相當な無理をしてまで押し進めた怪奇な事件の連續、これがお家騒動にまで絡みつき殺人まで添へて興味は津々とも云へる、然し稻垣浩の話上手な脚本は相當なものこの種のものとしては一通りの展開を示し難のないものであつた▼なほこの年內プロは七日からの「無明有明」「風と共に」に次で「三味線武士」「空の彼方へ」「海援隊」など期待していゝ作品が並んでゐる

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 郵稅一ヶ月十錢 廣告料金 普通一行一圓五十錢 特別同二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話③三一三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 和波黙 印刷人 水越內之介

小麥粉專賣制 十日を期し實施
需給調整價格安定期す

政府は食政對策並に時局物價對策の遂行上重要民食たる小麥粉の自給自足を期し、その配給統制を強化して需給の調整、代用粉の奬勵、價格の安定を圖るため來る十日を期して愈々小麥粉專賣制を實施することゝなつた、これにより小麥粉は國內產と輸入品とを問はず專賣官署にて收納並に計畫的配給を行はれ專賣署の賣下價格及び販賣價格も品種別に全國的均一となるものであるが、小麥粉專賣制實施に關し政府は左の如き諸般の處置を講ずることになつてゐる

一、所謂磨坊に付ては地方の實情を考慮し小麥生產地に於ては小麥粉の製造を認める事としたが販賣又は製粉請負を目的として製造する者は政府の許可を受けしめ其の製品は從來通直接地場賣を認め又單に自家消費を目的として製造する者は屆出を爲さしむるに止めた、尚是等磨坊の小麥粉製造に付ては本專賣に惡影響を及ぼさざる樣行政上適當なる措置を講ずること

二、小麥粉は政府の指定する小麥粉販賣人をして販賣せしめるが是等小麥粉販賣人に付ては小麥粉配給の圓滑とその販賣業務の改善發達を圖る爲地方別に販賣人組合を結成せしむること

三、工場、鑛山、土木若は建築工事場又は小麥粉を多量に使用する業者等にして政府より大口需要人として指定せられたる者に對しては政府より直接賣下を爲し其の一部に付ては販賣人組合をして其の事務を代行せしむること

四、地方の實情に即應し需給の調整及配給の適正を期する爲小麥粉配合の諮問機關として中央及び各省（特別市）縣、旗市每小麥粉配給委員會を設置し當該地域に於ける小麥粉の需給策定、配給方法及び之が取締其の他小麥粉配給上必要なる事項を協議せしむ

五、小麥粉の適正價格を保持する爲政府は小麥粉販賣人の販賣に付嚴重なる監督取締を行ふと共に闇取引、買溜等の行爲は嚴禁し之に違反する者に對して嚴罰を以て臨むこと

六、小麥粉に混入又は添加して配給する爲政府が特に小麥粉製造人に命じて製造せしめた包米又は高粱粉は小麥粉と同樣之を政府の專賣とすることである

官民の協力を要望
經濟部當局談發表

今般小麥粉專賣制度が創設され本年十二月十日より實施されることゝなつた、言ふ迄もなく本制度創設の目的は小麥粉の民食上に於ける重要性に鑑み其の自給自足を目途として之が配給統制を強化し代用粉を奬勵し需給の調整價格の安定を圖らんとするに在るのである專賣實施に伴ひ今後國內各工場の製造小麥粉は專賣官署に於て之を收納し日本より供給を受ける小麥粉其の他輸入小麥粉も亦總て專賣官署に之を收納する而して之等小麥粉は全國各地に配置されたる專賣官署より管內の販賣人に賣下を爲し販賣人をして消費者一般に販賣せしむるのである小麥粉の販賣價格は全國均一制に依り從前の國內粉、國外輸入粉別及各地別の價格を廢止する即ち品質に應じ特殊粉、普通粉一等及二等並に代用粉に分ち夫々適當に專賣官署賣下價格及販賣人販賣價格を定め之等の價格は全國各市街地相互間に於ては原則として之を均一とし同一地區內に於ては常に均一ならしむるものである、本專賣制度は從來の專賣制度とは稍々其の趣を異にし財政專賣的見地より設けられたものではなく實に我國食料政策並に時局物價對策の一翼として實施せらるゝものであり、之に依り我國重要民食たる小麥粉の自給自足を講ずると共に小麥粉價格の適正確保を圖り以て民生の安定を期せんとするものなるが故に本制度實施に當つては特に關係業者は充分なる理解と誠意とを以て其の遂行に寄與せられんことを要すると共に官民一致本制度創設の趣旨達成に付き全幅的に協力せられんことを希望する次第である

【寫眞】合作社綜合委員會

協同精神を基調に 興農合作社設立
委員會で最後的決定

農事、金融兩合作社綜合新合作社設立に關する第二回審議委員會は既報の如く六日午後一時より國務院講堂に於て開催、張委員長の挨拶、谷幹事長の幹事會經過の報告の後直ちに議事に入り、最の第一回審議委員會の結果に基き幹事會に於て研究作成せる「興農合作社設立要綱案」を上程「これに基き各委員より忌憚なき意見の開陳をなし、最後的檢討を行つた結果二、三の修正をなして大體幹事會案を承認、委員會としての最後の決定をなし、午後七時散會した、仍つて政府は近く國務院に附議、正式決定を行つた後これに基く所要の法的措置を急ぎ明年度春耕作期開始前に新合作社の實現を斷行する運びとなつた、即ち當日の審議委員會に於て決定を見た新合作社「興農合作社」は農民の協同精神を基調とし農家の福利增進を目途とゝし農事の改良發達を圖ると共に農本國策の合理的遂行を圖る經濟團とし活動すべき性質を賦與され從來の農事合作社の有してゐた如き強制權より離脫し社員の共助共勵を基調とするに至つたことは合作社運動の一大轉換と謂ふべきである、なほ全體的指導及び資金上の中央機關として現行金融合作社聯合會を一旦解散せしめて「興農合作社中央會」を設置するに決した事も從來の方式に一大修正を加へたものとして極めて注目される即ち第二回審議委員の決定を見た興農合作社設立の要綱は大要左の如くである

一、新合作社は縣旗を單位とし法人格を有する非營利團體とし名稱は興農合作社とする、その活動は經濟方面に限定し社員は農家を主體とするが農村の農家以外の者の加入利用も認める但し社員の出資は經費の分擔は行はぬ

一、新合作社は政府監督の下に置き社員共同の福利增進、農事の改良發達を圖ると倶に國家の計畫に即應し社員の共同精神を基調として全滿經濟の發展を期する

一、新合作社の機關たる社長及び監事には縣旗並に協和會の推薦に依る地方名望家を置く、その他の理事は政府の任命とする諮問機關としては總代會を設置する

一、新合作社と地方行政機關との連繫を密にするため縣旗長、副縣長並に協和會縣旗本部事務長を參與として重要事項を諮詢せしめる

一、新合作社の事業內容は農事共勵に重點を置き信用、共同販賣、共同購買利用共濟その他共同事業を行ふがそれからの實施は地方の實情と發達の狀況に依り、眞に農民の要望に應じて漸次活動を起す事とする

一、新合作社の下部機構としては部落を單位とする興農會を設置し農民相互の隣保共助の實を擧げるに要め合作社業務遂行上の據點とする

一、合作社の指導並に確保を圖り資金上の中央機關として中央に法人格を有する興農合作社中央會を設置する

一、各省には中間機關として法人格とを有する聯合會を置き、合作社の指導連絡、事業斡旋、中央會の金融事業の代理業務等を行ふ

一、眞に農民の意思を反映し、農民の團體としての新合作社の育成を圖るため強制的檢査、交易、收買等は行はしめぬ

一、信用事業は農業生產力の發達に重點を置き對人信用を本質とした無擔保金融を擴充し、必要に應じて動產擔保金融を行ふ

なほ新合作設立に當り農事金融合作社並金融合作社聯合會は凡て一旦解散されることとなるが、これに伴ふ資產、負債の引繼、職員の配置等に付いては別途考慮されまた現合作社の市街地關係業務は別に機構を整備される事となる筈である

米の對ソ斷交
最後的決定を延期

【ワシントン五日發國通】五日アメリカ政府某高官はソ、芬紛爭解決のため最後の折衝が行はれて居るのに鑑み米、ソ斷交に關する最後的決定を延期することゝなつた旨を次の如く洩した

アメリカ政府は目下歐洲に於てソ、芬間の紛爭を解決せしめ速かに平和を克服せんとする努力が秘密裡に行はれて居るとの情報に接してゐるされば政府はソ、芬紛爭を解決せしむるための努力が成功するものと信じソ聯との國交を斷絶せよとの提唱に最後的決定を下すことを差控えて居る

芬に援助資金

【ワシントン六日發國通】ルーズヴェルト大統領は五日記者團との定例會見で來る十五日フインランド政府がアメリカに支拂ふべき戰債年賦金廿三萬四千六百八十三弗をフインランド援助のため使用すべく國庫の特別勘定に計上するやうモーゲンソウ財務省長官に命令した旨言明した

獨ソ中亞に鉾を向けん
英紙の報道

【ロンドン五日發國通】ベルリン政界ではソ聯がフインランド攻略後その鉾先を中央アジア方面に向けるであらうと傳へてゐるが五日デイリー・テレグラフ紙アムステルダム特電はドイツもまた近く近東並びにインド方面に戰局擴大を計畫してゐるとつぎの如く報じてゐる

西部戰線における軍事行動の膠着並にマジノ線攻擊の冒險に對する反對意見はナチス黨指導者の考へを世界の他の部分に於て英佛に打擊を與へる可能性の檢討に向はせヒトラー總統の國防最高會議は目下戰爭を中央アジア並にインド方面に擴大することの可否を論議してゐるといはれてゐる、これに關しドイツはソ聯の支持を希望してをり若しソ聯にアフガニスタンを貫いて英領インドを攻擊することを肯んぜしめ得ればドイツの中央アジア謀略と相俟つて英佛の戰力を分散せしめ得るとみてゐるのである

東亞經濟懇談會第二日

【東京國通】東亞經濟懇談會第一回大會の第二日六日は午前九時半より帝國ホテルで開催、農業、金融、工業、鑛業の四分科會に分れてそれぞれ各關係事項に關し日滿支一體經濟開發の當面する諸問題につき各地域代表の間に活潑なる討議を行つた

【東京國通】第一分科會（農業）は日滿支側代表百餘名出席

一、日、滿、支における農業の現狀二、日滿支を通ずる農產物增進計畫とその實施方法三、重要農產物の日滿支需給調整に關する緊急對策四、移住問題

の諸項目を議題とし日、滿、蒙、支農業界を代表する諸氏より各發言があり午後零時半散會、また第四分科會（金融）は先づ津島日銀副總裁より日、滿、支通貨金融問題の總論的演說あり

一、日滿支通貨及び金融事情二、日滿支爲替協力問題三、日滿支間及び支那各地域間の貿易決濟問題四、增產開發資金と地場資金の問題五日滿支物價調整問題

等に關し日滿支三國代表より夫々發言がなされ午後零時半閉會した

雪崩打つて敵潰走
中條山脈作戰最高潮

【○○前線六日發國通】四日夜半より五日拂曉にかけて折柄下弦の月も凍る嚴寒中條山脈第一線の方山樹臺地にあつたわが武田部隊の右翼に對し小精にも敵約一個團が逆襲を試みんとしたが早くも探知したわが軍はこれをものゝ見事に擊退、雪崩を打つて逃げんとする敵を追擊して次々に高地を占領、五日朝來果敢なるわが軍の猛攻擊によつて早くも敗退の色濃く峻嶮を縫つて進擊するわが軍は峨々たる山岳の陣地より陣地へと隨所に敵を擊碎、かくて重松、荒木、守戶の各部隊と武田部隊の翼側部隊は戰鬪開始以來早くも三日にして包圍圈を著しく壓縮、兩部隊は今明日中に感激の握手を交はさんとしてをり今や中條山脈殲滅大包圍戰は最高潮に達した感がある

獅嶺圩北方の敵潰走

【廣東六日發國通】わが○○部隊は去る三日獅嶺圩北方高地附近に敵百五十二師及び百五十四師に屬する千餘の敵を奇襲、敵は二百の死體と多數の武器彈藥を遺棄して北方に敗走した、又一方○○部隊は敵の退却に先んじ北方に迂回して折から敗走し來つた百五十二師九百八團に屬する約六百の敵を捕捉、これに猛攻を加へ殲滅的打擊を與へて潰走せしめた、敵の遺棄死體二百五十、わが方の損害極めて輕微にして多數の武器を鹵獲した

片翼、爆擊を續行
海鷲谷口機壯烈な自爆

【上海六日發國通】艦隊報道部十二月六日午前十一時發表＝南支方面戰況

一、南寧攻略後追擊作戰中の陸軍部隊に呼應して連日活躍しつゝありし海軍航空部隊は一昨四日賓陽、八塘間において敵の熾烈なる地上銃砲火を衝き隨所に敵據點及び五百以上の敵集團を銃爆擊しこれに甚大なる損害を與へたり、本戰鬪中にわが一機不幸敵彈を蒙り敵陣地に突入壯烈なる自爆を敢行せり

三、なほ同日他の有力なる航空部隊は横縣、鬱林方面に集結しつゝありし敵部隊及び柳州東方の敵軍事施設を爆擊し何れも多大の損害を與へたり

【上海六日發國通】南支那方面わが海軍航空隊の一隊は四日も前日に引續き陸軍○○部隊の作戰に協力○○機の編隊をもつて八塘（南寧東北五十粁）賓陽（南寧東北七十五粁）一帶の敵陣地に猛爆を加へたが谷口茂一等航空兵曹（舞鶴）及び福田源鉢二等航空兵曹の搭乘せる一機は陸屋圩（欽州東北方三十五粁）上空において敵の熾烈なる地上砲火を受けたゝめ右側爆彈誘爆し右機翼は飛散し胴體は大破したがなほよく左側爆彈をもつて敵陣を爆擊した後悠々壯烈な自爆を敢行、勇壯無比なる兩航空兵は沈着その目的を貫徹しつゝ大廣西の土と化した

四温

今の御役人達に、「出來るだけ仕事をしないようにして貰ひ度い！」といつたら、「とんでもない！一日が三十六時間あつても足りない、からだが二つもほしい位だ！なにしろいそがしくて」といはれるだらう▼なるほど世は非常時で、何人もその全力をあげて活動しなければならない、二人前も三人前も働かねばならぬときではある▼ところがその努力、その忙しさは、はたして、眞に全體目的の達成のために本質的な忙しさや努力であるかどうか▼これはひとり官吏だけに限つたことではないけれども世の人々が一般にたえず反省してみる必要がありはしないか▲「いつたい自分がやつてゐる事は、ほんとうに世のため、人のため、即ちお國のためになつてゐるや否や」といふことを毎日反省しつゝ仕事をしないと、いふといつのまにか仕事のための仕事か、權勢慾のための仕事か、功名心のための仕事になつてゐて、およそ眞の目的とは反對の効果をあげるようなことになるおそれがあるのだ▼日本では先頃から、東海道線及び山陽線の急行列車を二本增發することになつたが、それはもちろん各種交通量が急增し、とくに滿洲、支那等大陸との交通が從來の數倍にも達した事もその大きな原因であるけれども、關西その他の商人實業家達が東京政府に御用の多くなつたことが可なり重要原因になつてゐることは爭そへない▼爲替許可についての大藏省、物資配給についての商工省といふものが、今日の日本の經濟生活にどういふ役割を演じつゝあるかといふことは、一度大藏省や商工省の廊下に立つてみたなら、何人も今更におどろかされるに違ひない▼自由主義經濟に對して國家統制を加へて來たのだから、つまり神の見えざる手による自然調和をお役人の手でやることになつたのだから、まことに餘儀ない仕儀なのだ▼しかしこの神々の群たる經濟統制のお役人たちは從來の權力のみのお役人と違つて、經濟體制運營のエンジニーアなるものであるから、まづキバルことをやめるのは勿論、出來るだけ能率をあげて貰はねばならぬ▼「それは勿論のことでわれわれはやせる程、いや病氣になる程働いてゐる」といふかも知れない▼お役人の勉強振りを疑ふわけではないが、願くば頭を回らして、「どうしたらもつと仕事をせずにすむ」かといふことも考へて貰ひたいものだ▼自體役人といふものは、「いそがしい」といふことを本能的に喜ぶものである▲多忙を得意とするのが役人通有の心情である▼そこで練達のお役人に註文したいのは、少しおひまになる工夫をして貰ひ度いといふのだ▼このことは特に滿洲國のお役人に申し度い▼隨分といそがしい人達がいそがしい上にもいそがしがらうと、何でも彼でも口を出したり、手を出したり御親切は有り難いようだがその實有り難迷惑といふこともあり、歸趨に迷つたり適從するところを見失つたりといふようなこともあるのだ▼これは特殊會社の重役さんの日常を忖度してみるのだが、產業五ケ年計畫を擔當遂行すべき特殊會社は、もちろん官制によらざる國家機構だと思ふが、この國策會社のお歷々たちは毎日々々政府各部を足をすりこぎにして、いや貴重なるガソリンを浪費？して、巡拜し、大先輩の身をもつて若輩後輩のお役人達の諒解と援助？とを求めるのがその仕事の大部分になつてゐはせぬか？▼一寸でも關係があればどの官廳にも敬意を表しなければ仕事がうまく行かぬといふ實情ではなからうか▼もしさうだとすればお役人はもつとお互に責任を重んじ他人や他の官廳を信用して、なるべく仕事の間口をせばめてはどうか。

溫古集

偉さうに申せば安東に本據を持つ新聞の再建をやつてる次第ですが來任後半歲に充たず萬事はこれからなりで折角馬力をかけて居ますこの夏以來の病氣も快癒、この頃は全く健康を取り戻しました、安東は大して住み惡いところではありません

十二月五日

安東新聞社 佐藤武雄

全聯議決事項處理部內幹事會

康德六年度全聯議決事項處理部內幹事會は六日午後三時半から協和會中央本部で高樋協、柏原總務、千葉組織、青木人事、三浦總理各部長以下幹事卅四名出席して開催

△全聯處理の根本的理念及び方針の檢討△委員會と幹事會と會組織運動との連繫展開策△委員會幹事會の開催時期及び運營の大綱

などにつき協議した

徐駐伊公使

【ローマ五日發國通】滿洲國駐伊公使徐紹卿氏は賜暇歸國のため來る廿日諏訪丸で歸國することゝなつた

人事往來

▲源田松三氏（濱江省次長）六日來京ヤマトホテル
▲竹間茂登氏（關東氣象台長）
▲木村正道氏（生活必需品常務）同
▲內田茂氏（東亞海運專務）同
▲淸水安治氏（同副社長）同
▲岸田菊郎氏（同大連支店長）同
▲向野元基氏（牡丹江省長）國際ホテル
▲井上實氏（牡丹江開拓廳長）同
▲內山修雄氏（朝鮮總督府）三國ホテル
▲篠原久司氏（滿洲特產專管）同
▲中村太郎氏（福昌公司）同
▲矢野德三氏（湯淺乾電池專務取締役）同
▲今吉年雄氏（永田製作所取締役）同
▲大須賀勝二氏（ライジングサン石油會社）同
▲齋尾健一氏（機械技師）蓬萊ホテル
▲岡治初治氏（金山）大和新館
▲高梨勉氏（高梨組社長）同
▲永谷富二氏（大倉商事）國都ホテル
▲土肥氏（奉天省次長）同
▲石井良太郎氏（東京市會議員）櫻ホテル
▲淸水鉄五郎氏（同）同
▲福田詩一氏（同）同
▲勝谷達二郎氏（同上電氣事務）同

社説 國民の爲の圖書館を

新京に國立圖書館を作らうといふ運動が開始されたのは大分以前のことであつた。その後滿洲國政府でも愈よその必要を悟つたのであらう、國立圖書館を設立することを決定し、着々とかそれとも徐々にかは明白でないが、兎も角その準備を進めてゐるやうである。

ところでいま滿洲國政府によつて設立されようとするこの圖書館は、専ら滿洲國官廳の利用に資することを主たる目的としてゐるやうである、それも國立圖書館の一つの在り方には違ひないが、われ〳〵としては國民のための國立圖書館をこそ要望したいのである。

何も外國の模倣をする要はないが、かの大英博物館の如きが、わが國から留學した人々によつても遺憾なく利用されてゐるといふやうな事實はまことに羨望に値ひするのである。官廳に圖書が要るならば官廳自身これを購入し備へ付けて置くがよい。圖書館はあくまで公開されることを原則とし一般のために開放され、偏頗なく公益のために仕へるやうなものであつてほしいと思ふのである。滿洲國の國立圖書館は出來た、しかし行つて見ると重要な本はすべて官廳に、或ひは特定の官吏に獨占されてしまつてゐるといふ風であつては珍奇な風景でもあるし、非公益化した存在として排撃を受けざるを得ぬであらう

圖書館の問題とは離れるが、滿洲國の諸官廳に於いて種々の刊行物を出してゐる、それについても感じさせられることがある。もとよりそれらの刊行物は第一にはそれらの官廳自體のために、またそれらの官廳に勤めてゐる人々のために出されるものであらう。それははつきりわかつてゐる。しかしそれらの刊行物の中にはこれを公開して何ら差支へのないものもあることを知るものも少くないことを與へ得るのである。刊行に當る當局は宜しくこれらの差支へのないものはこれを一般にも發賣するやうにしたらどうであらうか。些少ながら收益もあらうといふものである。

ともかくすべてに、滿洲國は滿洲國らしい新しい行き方で行きたいものだ。滿鐵の如き、通學兒童の乘車賃銀を來年から全免するといふクリトン・ヒツトを放つてゐる。圖書館、博物館、刊行物さういつたすべての文化的な部門で、美しい官民一致、全國民の利益第一主義といふことが徹底せしめられることをわれらは切に希望するのである。

來年度開拓豫算
總額一億三、四千萬圓に達せん
日本側と睨合せ決定

開拓事業の國策的展開を數字化す日本側明年度拓務省豫算は要求豫算に對し概略四分ノ三程度の承認を得たが右日本側豫算と睨み合せた滿洲國開拓事業豫算も主計處に廻付圓滑なる開拓政策の進展に對處すべくその全面的承認を求めることゝなつた、拓務省において決定を見た明年度開拓民送出計畫は集團一萬六千戸、集合三千戸、分散、鑛工合せて一千戸計二萬戸の外青年義勇隊は三萬と豫定されてこれが助成については基本要綱に基き日滿各分擔、或は協同部門が明確になつた結果、日本側豫算の膨脹率と同程度の滿洲側豫算膨脹は必然的であり、滿洲國側開拓事業關係豫算は開拓總局を中心として民生、治安、交通各部が各々所管業務中において開拓事業に參畫する部面を合せ總計一億圓を突破してゐる、之が膨脹の原因としては入植團員數の増加に加へて集團、集合の助成差等を撤廢せること並に單價の増額を行つたこと集團、集合開拓民を通ずる助成費の増額を行つたこと義勇軍關係においては指導員の給與待遇改善並に員數充實、訓練本部の新設、指導員養成費増加等があげられる、所管別內譯概數は大體左の如し

一、開拓總局
 一般會計 二千五百萬圓
 特別會計 八千萬圓
 (土地改良、整備、用地買收、原住民補導)
一、交通部所管
 (道路整備)六百五十萬圓
一、民生部所管(未定)
 (開拓醫學先實費)

右の外追加豫算としては鮮系開拓民補導費、治安部關係のものが加へられる筈で明年中に政府より開拓關係費として放出される資金總額は一億三、四千萬圓見當に達するのではないかと見られてゐる、因に本年度開拓總局豫算は一般會計七百五十萬圓、交通部、治安部民生部關係二百萬圓である

明年度拓務省 新規要求承認 開拓民費多分に計上

【東京國通】明年度拓務省新規經費要求總額八千五百萬圓に對し五日大藏省との折衝が完了し左の如く總額三千九百七十萬圓の承認を見た、これに本年度標準豫算を加へれば明年度拓務省總豫算は五千五百八十萬圓で本年度豫算四千七百四十一萬圓に比すれば約一千萬圓の増加となつてゐる、この本年度豫算中には滿洲拓植會社に對する拂込金五百萬圓が含まれてゐるので實際においては約一千五百萬圓の増加である、新規經費三千九百七十萬圓の大部分は滿洲開拓民費三千五百六十萬圓で主なる經費左の如くである(單位千圓)

一、滿洲開拓民費 三五、六〇〇
一、拓植局(所謂南方局假稱)新設費 三〇
一、南洋地方拓植事業指導奬勵費(ボルネオ移民南洋協會補助費等) 一、一〇〇
一、本省調査部の新規費用 三〇
一、南米地方植民及び拓植事業の保護奬勵に關する經費 一、〇五〇
その他合計 三九、七〇〇

解決を見たもの相當數に上つてゐる、なほ明年度における集團開拓民の戸數は二萬二百戸で本年度の一萬一千戸に比して二倍となつてをり所謂廿ヶ年百萬戸移住計畫の線に沿つたもので一方青少年義勇軍は本年度同様三萬人である、滿洲開拓民費の殆んど全部は民集團開拓民および義勇軍の經費であるが、その他の豫算の主なるものは次の通り(單位千圓)

一、中央における機構擴充費(開拓局設置に伴ふもの)六〇
一、地方機構の擴充費、各府縣に拓務課を設置する二〇(長野縣、山形縣など明年度に於て縣に設置する)
一、滿洲拓務委員會分擔費
一、一〇
一、新京訓練本部設置に伴ふ經費二〇(本省より勅任事務官一名、書記官一名、その他事務官、技師を派遣する)
一、開拓民及び青年義勇軍その他に對する弔慰金制度確立に伴ふ經費五〇
一、委託學生費四〇(開拓地の醫師不足を補ふため專門學校、大學に委託學生を設ける)
一、殘留家族扶助費五〇
一、小學校兒童に對する拓植訓練費五〇
一、沖繩縣開拓民訓練所設置に對する補助費五四
一、農村中堅青年の滿洲視察補助費三〇

海軍歸還將星に御陪食を賜ふ

【東京國通】天皇陛下には前北支方面海軍最高指揮官日比野正治中將をはじめ赫赫たる武勳を樹てゝ歸還した左記海軍將星等に對し慰勞の思召を以て來る八日正午宮中豐明殿において伏見軍令部總長宮殿下を始め奉り松平宮相、百武侍從長、蓮沼武官長等側近並びに吉田海相、大角、永野、米內、加藤、鹽澤各軍事參議官、住山次官等を召され一同に對し午餐の御陪食を賜る旨五日御沙汰あらせられた、光榮の歸還將星左の如し

海軍中將日比野正治、近藤信竹、塚原二四三、宮田義一、海軍少將宍戸好信、草鹿任一、太田泰治、杉山六藏、鋤柄玉造、河瀨四郎、伍賀啓次郎、山縣正鄕、岡新、山口多聞、海軍中佐貴志久吉

滿洲開拓民の發展基礎確立

【東京國通】滿洲開拓民の飛躍的發展を目標とし拓務省では去る十一月の滿洲開拓民審議會の答申に基き各般の新規施設の擴充を期し明年度豫算においてこれが實現を圖るべく大藏省と鋭意折衝を重ねてゐたが、五日それぞれ承認を得たので事變下第四年を迎へた東亞新秩序樹立の重大要素たるべき滿洲開拓民の發展的基礎の確立を見るに至つた、即ち今回滿洲開拓民費として明年度拓務豫算新規事業のうちに盛られた經費は總額實に三千五百六十萬圓に上り本年度豫算二千五百萬圓に比し實に一千萬圓以上の増加となり懸案の

重點主義に更改
歐洲情勢に鑑み轉換

【東京國通】昭和十五年度物動計畫の立案調整に關しては目下企畫院において陸海軍、商工、大藏等の關係各省と緊密なる連絡をとり着々調査審議を進め、一方これと併行的に物動計畫と一體不可分の生産力擴充計畫の實施に關しては愼重審議を行つてゐるが、ヨーロツパ動亂の擴大と發展に伴ひ戰時重要物資の世界的需要は加速度的に増大しわが生産力擴充及び物動の二計畫に相當大なる影響を及ぼしヨーロツパ動亂前の編成ならびに實施方針では到底圓滑にその目標を達成し得ることは困難となつたので從來の計畫、實施、方針を更改して重點主義を積極的に採用すると共に石炭、鐵鋼等の基礎的物資の飛躍的増産に最大の力點を置くことになつた、從つて物動計畫に於ても極力民需を壓縮して之が計畫實施に遺憾なきを期する筈で兩計畫の實施部門の擔當者たる商工省としても更改された計畫方針に則り鋭意有效なる諸施策を明年度より斷行せんと目下着々準備を進めてゐる

豫算大要決定 八日定例閣議に附議

【東京國通】明年度豫算編成に關する大藏省主計局と各省との事務的折衝は五日夜を以て愈よ一段落を見るに至つたので主計局では尚未決の問題に對する最後的折衝と計數整理を行つた上八日の定例閣議に明年度一般會計豫算を附議することになつた、而して主計局としては明年度豫算閣議においては一般國防豫算及び明年度物動計畫と不可分の關係にある明年度臨時軍事費豫算に對しても出來る限りその外貌を明かにしたい意向であるが陸海軍兩當局との折衝が圓滑に進捗すれば來る通常議會にはこれを一般會計豫算案と共に提出することゝならう、尙休會明け期日の繰上げはその困難なることが明瞭となつたので八日の豫算閣議では閣議席上右に關して靑木藏相より諒解を求める意向である

農林省外局食糧局 本年中實現か

【東京國通】戰時綜合食糧政策の基調として農林食糧行政の一元的統制を期し農林省が設置の準備を急いでゐた米穀局を擴充强化し農務局農産課の一部を包含する外局として食糧局設置問題は所要豫算六萬圓程度の第二豫備金支出の件につき大藏省と折衝中の處、承認を得たので豫て農林當局において作成中の食糧局實施要綱案を整備の上直ちに法制局に廻附することになつた、依つて出來る限り十二日の閣議に附議して正式決定の上、本月中旬頃までに樞密院に御諮詢を奏請する筈であり年內に實現可能とされてゐる

拓務省機構改革

【東京國通】拓務省では南方關係局、滿洲開拓民國策の重大性に鑑み現在の拓務局の分類擴充を計畫し明年度より實現すべくこれに伴ふ經費を大藏省に要求してゐたが、五日の最後的折衝の結果漸く承認を見たので待望の拓務省機構改革は明春より實現を見る運びとなつた、拓務局の解消によつて新設される二局は左の通りである

一、拓務局(假稱) 從來の南方局(假稱)としてゐたもので總務、南洋、南米三課に分つ
一、拓務局總務課長は勅任事務官とし東亞課以下五課に分つ

米海軍、眞珠灣に浮船渠を移設
太平洋防備强化へ

【ニューヨーク五日發國通】五日ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙のワシントン特電によればアメリカ海軍省は太平洋防備强化のためニューオルレアンスにある浮船渠をハワイ眞珠灣に移すに決したといはれる、右浮船渠は長さ五二一フイート、一萬八千トンの船舶を入れるに足るもので現在の眞珠灣內にある長さ一千フイートの固定船渠と並んで眞珠灣海軍根據地としての價値を高めるわけであるが、六週間以內に曳船に引かれてニューオルレアンスを出發するが、パナマ運河の通過には相當の難航が豫想されてゐる

ゴ市を軍港に と獨政府發表

【ベルリン五日發國通】ドイツ政府は五日ゴーテンハーフエン市(舊ポーランド領グヂニア港)をドイツ海軍軍港とする旨發表した

獨、伊に迎合し
ソ芬和平解決を要請か

【ローマ五日發國通】ソ聯のフインランド進攻に對してイタリーに於ては猛烈な反ソ機運が釀成されつゝあるが傳へられるところによればドイツはイタリーの態度に迎合してソ聯に對しフインランドを和平解決に到達するやう要請するであらうと云はれる、右報道は從來イタリー外務省と絶えず連繫を保ちムツソリーニ首相と數回に亘り種々外交方針に關して會談を遂げてゐる駐伊ドイツ大使フオン・マツケンゼン氏が急據本國に歸還したことに關聯して傳へられてゐるもので、マツケンゼン大使はソ聯のバルチツク攻擊に對するイタリーの極端な反對、特に騷擾デモをなした學生に對するムツソリーニ首相の個人的同情に對してヒトラー總統に進言するものと解せられる、なほフアシスト大評議會は七日開會、バルカンに對するイタリーの立場に關して徹底的宣言をなすものと信ぜられてゐる

濠洲汽船爆沈

【シドニー五日發國通】四日濠洲よりイギリスに向け航行中ドイツ・ポケツト戰艦アドミラル・セイヤー號によつて擊沈されたブリユー・スター汽船會社所屬ドリツクスダー號(一〇、〇八六噸)には八千俵の濠毛及びニユージランド積出しの食料品が積載されてゐたと傳へられてゐる

日米會談に米國務長官代理談

【ワシントン五日發國通】ウエルズ國務次官はハル國務長官の代理として五日新聞記者團と會見四日の野村グルー會談內容に關する記者團の質問に答へて左の如く述べた

國務省はグルー大使の報告により目下日本側の具體的提案を檢討中であるが右會談が建設的精神をもつて行はれたとの日本外務省のコムミユニケは會談の空氣を極めて的確に傳へたものである

"穀粉管理"生る
小麥統制機關 粉聯を改組擴充

小麥の積極的増産並に小麥粉配給統制强化及び價格の安定を圖らんとする小麥及製粉業統制及び小麥粉專賣制は愈よ來る十日より實施されるがこれに伴ふ主要業務を營む機關として現在の製粉聯合會を特殊會社に改組擴充する事となつて居り同社も名稱はこの程「滿洲穀粉管理株式會社」に落付き資本金は一千萬圓(政府全額出資)と決定したので同會社法案は近く國務院會議に附議正式決定を見る筈でこれが實施は廿日前後となる模様である

佛印有力華僑
汪氏の聲明を支持

【厦門五日發國通】佛印より最近鼓浪嶼に歸來した佛印華僑の有力者林某の談によれば汪兆銘氏の和平救國聲明以來佛印華僑總商會長林振干以下有力華僑はすべてこれを支持その實現を熱望してをり金門島、厦門、汕頭、廣東等彼等の鄕里が相次いで失陷せる事實を知るや重慶政府のいふ抗戰勝利は悉くデマなる事を悟り重慶側が幾度か人を派して援助を懇請しても殆ど耳を藉すものがない有様である、なほ最近同地方は歐洲戰亂の影響を受けて金融界は極めて低調であり佛印當局は去る十月一日附布告をもつて金の流出を抑制、何人といへども百元以上の持出しを禁止したため爲替業者は閉業のやむなきに至つたがこれにより最も苦痛をうけたのは毎月送金によつて生活を維持してゐる華僑の家族であつてこれが續けば佛印華僑は衰勢の一途を辿るほかなく佛印當局にその緩和方を要求してゐるといはれる

反蔣民軍 福建南部占據

【厦門五日發國通】五日平和(福建省南端縣城)より歸來せる華僑の談によれば同地の反蔣民軍は第七十五師に屬する遊擊第一隊長張河をも味方に入れ、目下平和より雲霄地方九十里に亘る一帶は全部反蔣民軍に占據されて居りその氣勢侮り難いものがあると

インフレ策非難
宋、重慶當局に抗議

【香港六日發國通】重慶側の抗戰金融方策を協議すべき中國金融會議の開催については重慶側はこれを否定してゐるが、消息通筋では五日香港において主要銀行代表參集の下に同會議が開催されたことは確實としてゐる、同會議の主要議題は法幣の安定方策にありと信ぜられるが右については孔祥熙等重慶財政當局と宋子文との間に深刻な意見の對立を生じてをり宋子文は上海香港の支那銀行側の意見を代表して重慶當局のインフレ政策に反對し健全財政を强硬に主張してゐるので宋子文及び銀行側の同會議における態度は極めて注目されてゐる

何應欽の演說要旨

【香港六日發國通】何應欽は四日の合同記念集會において抗戰建國のヘゲモニーは國民黨にありと演說したが右は共産黨の抗戰における共同行動と非常時行政に對する共同責任負擔要求を峻拒したものとして注目される、何應欽の演說要旨次の通り

故孫總理によつて築かれた建國大綱は當時の國民革命當時における革命的事業を規律化した唯一の成文律でまた同時に支那共和國の憲法に對する基礎をも據ゑたものである若し吾々が憲法政治を實施せんとするならば先づ地方自治の完成に努力せねばならぬ、支那國民黨は支那共和國を建設してこれを撫育成長せしめる責任を負はされてをり國民黨の上に課せられたこの歷史的使命は他の如何なる黨派或は勢力によつても決して左右されるものでない

外蒙前進部隊
青海省內に進入

【大同五日發國通】ソ聯軍の四川省進出と軌を一つにして外蒙前進部隊は青海省に進入し目下續々兵力を増加中でありこれに狼狽した蔣介石は四川省土着軍に對し青海省に急遽移駐を命じたと傳へられる、右移駐は英大使の要請に基くもので西藏方面赤化防止のためといはれてゐる

劉家臺附近で 敵大軍を猛爆

【石家莊五日發國通】曩の狼牙山作戰および今次の阜平攻略戰に地上部隊と緊密な連絡の下に協力し赫々の戰果を擧げつゝある陸空軍の精鋭杉本部隊は四日拂曉まだ明けやらぬ〇〇基地を出發、敗殘八路軍、獨立第一師所屬の敵が蠢動する劉家臺(完縣西北廿二キロ)を急襲し巨彈の雨を降らせ地上にあつた柳川、渡邊各部隊もこれに呼應して一齊に攻めたてれば敵は不意を喰つて西北方に潰走、水口四家臺の鞍狀の谷間に雪崩込んだ、杉本部隊は更にこれを捕捉すべく谷間を滿るやうな低空飛行をもつて徹底的猛擊を加へれば一彈毎に命中、一千餘の敵を全く殲滅し谷を埋める爆煙を後に燃えさかる劉家臺を眼下に見下して全機悠々〇〇基地に歸還、同日正午更に同地方一帶を偵察中劉家臺東北方の于家鎭に集結中の敵を發見爆擊、午後には滿城西方十キロの周庄、官頭、口頭、五岡を結ぶ山間の隘路に三、四千の敵移動部隊を發見これまた反復爆擊殲滅的打擊を與へた

英兵暴行事件 市長より抗議

【上海五日發國通】去る三日夜滬西越界において英國兵四名が勤務中の上海特別市政府警察總隊警士郭文の銃を强奪し、銃柄をもつて頭部を毆打負傷せしめた暴行事件に關し傅上海市長は五日フイリツプ英總領事に對し治安秩序の維持確保のため文書をもつて嚴重抗議を提出同時左記四項の要求申入れをなし回答を求めた

(一)法により事件責任者を嚴重に處罰すべきこと(一)被害者郭文の治療に要する一切の費用を負擔すべきこと(一)英軍兵士は紀律を嚴守し、騷擾を起さざることを約すること(一)將來再びかくの如き騷擾暴行事件を發生せざることを保障すべきこと

英北支軍引揚先 獨佛國境と判明

【天津五日發國通】英北支駐屯軍の引揚げ先については極祕に附されてゐたが、同部隊は五日早朝をもつてほゞ引揚げを完了、一旦香港に集結の上歐洲に向ひフランスに上陸、英佛聯合軍に參加し獨佛國境に配備されることが判明した、即ち二日先發の機械化部隊のあとを追つて第二回目は五日午前七時十五分(百七十名)第三回目は六日朝それぞれ天津發秦皇島より海路香港に向ひ、暫く同地に滯在の上西部戰線に輸送されるはずで一方北支駐屯交代兵は四日秦皇島着、五日午後四時十六分大部分は天津に下車、一部は同夜北京に赴くことになつてゐる

ソ聯紏彈宣言
米洲諸國に釀成

【ワシントン五日發國通】ウエルズ國務長官代理は五日新聞記者團との會見において、ソ聯の對フインランド侵略紏彈に關する米洲諸國の共同宣言問題に言及し米國は凡べての米洲諸國がかゝる宣言發表に同意するならば欣然參加するであらうと左の如く語つた

若干の南米諸國は國際紛爭解決の原則を支持し且國際紛爭の手段としての武力行使を非難すべく米國政府に對しソ聯の對フインランド侵略紏彈に關する米洲諸國の共同宣言に署名を求めて來た、これに對し米國政府は若し凡べての米洲諸國がかゝる宣言の作製に同意するのであれば米國は欣然參加するであらうと回答した、提案して來た南米諸國の名は現在發表することは出來ないが事實上凡べての南米諸國は既にステートメント乃至はメツセージによつてその反ソ態度を明確にしてゐる

國民學校制 愈よ實現近し

【東京國通】文部省が現在目指す最大の懸案國民學校制度(初等國民學校六年、高等國民學校二年)が四日の文部、大藏兩省の豫算會議によりいよいよ實施の運びとなつた、かくて議會の協讚を得れば初等國民學校は明年度を準備期として明後十六年度よりまづ一、二兩學年を實施、順次二學年宛改編して十九年度からはいよいよ高等國民學校が生れ八年制義務教育が今の小學校六年制の義務教育にとつて代る譯である

この國民學校の實施はわが教育史上劃期的なことで、これまで小學校卒業だけで進學しなかつた二十五萬の兒童も義務として高等國民學校に進學せねばならぬことになる、文部省の目指すところは智識と實踐の一致、教育の實際化で詰込み主義を排して人物練成に主力を注ぐと同時に從來の分科主義から綜合主義に改善するものである

國務院人事

十二月一日總理大臣官邸に開催された第六十二次臨時國務院會議に於て左の人事事項可決され一日附發令された

仙台地方裁判所豫審判事 二階堂喜一郎
任審判官敍簡任二等 哈爾濱高等法院審判官(十二月一日)
農林技師 横川信夫
任林野局技正敍薦任二等命計畫科長(十一月二十九日)
中央師道訓練所教官 德宿太重
任王爺廟興安學院主事敍薦任二等(十一月三十日)
參議府祕書局理事官 曲克善
任産業部理事官敍薦任二等命農務司勤務
交通部技佐兼臨時國都建設局技佐 中川順造
任交通部技正敍薦任二等命遼河治水調査處勤務 十二月一日附(各通)
奉天區法院審判官 飯守重任
任司法部參事官敍薦任二等命大臣官房勤務
省理事官兼地籍整理局事務官 宇古勇藏
任産業部理事官敍薦任二等命大臣官房勤務(人事科長兼會計科長) 十二月四日附(各通)
國民高等學校教諭 松岡雄三
任公立國民高等學校長敍薦任三等命間島省立延吉國民高等學校長(十二月一日)
新京郷政管理局理事官 高島芳夫
陞敍薦任一等(十二月一日)
依願免官(十二月二日)
國立國民高等學校教諭 波多野尊虎
任公立國民高等學校長敍薦任三等命安東省立安東第二國民高等學校長(十二月五日)
總務廳參事官兼産業部事務官 手島駒義
兼官を解く(十二月四日)
産業部參事官 松任谷健太郎
依願免官(十月二十三日)
國立大學工鑛技術院教授兼民生部事務官 野上一郎
依願免官(十一月三十日)
交通部技正 中川順造
依願免官(十二月二日)

商況 六日後場 各地株式市況

●大連株式(短期) 寄付 大引
●奉天株式(短期)
手形交換高(六日)
[illegible]

東亞經濟の建設
青木企畫院總裁講演

【東京國通】青木企畫院總裁は東亞經濟懇談會において東亞經濟建設の動向を明示した注目すべき講演を行つた、要旨次の通り

□東亞□

永遠の平和を確保すべき新秩序建設の大理想實現のためには經濟方面に於てなさなければならぬ仕事は東亞の自守的經濟の建設即ち東亞ブロックの結成である、東亞ブロックの經濟を單一體に融合することを目的として各地域における經濟を合理化し東亞に必要なる諸物資を可及的にこれを東亞自體の圈内で賄ひ、動くとも歐米諸國の勢力に左右せられないだけの自守的立場を確保することは今日世界の大勢に照し絶對必要である、東亞經濟ブロックの結成は既に世界の經濟組織上にも必然の趨勢でありまたその結成の基礎條件たる地理的關係その他も既に具備されてゐるに拘らず今日まで東亞經濟ブロックの實現を東亞諸國の一致して形成し得なかつた所以は、これを結成せしめこれを推進せしめて行くべき中心の定立を妨害して來つた一大障碍が蟠居してゐたためである、その障碍とは即ち支那における共産主義思想であり、また歐米依存思想であり、またその代辯者として蠢動を續けた蔣介石政權の政策である、蔣政權は口に三民主義を標榜しながら事實上においては支那大陸を歐米列國の植民地化せしめ、延いては支那大陸經濟の支配權をこれ等諸國の手に委ねて支那民衆を塗炭の苦しみに陷れ東亞の保全と

□繁榮□

の基礎たる東亞ブロック經濟の結成を阻止してゐたのである、支那事變とまさにこの秩序建設の目的たる東亞新の一大障碍を排除して東亞をしてその本然の姿においてその進むべき道を進ましめることにある、東亞經濟の自守性あつて初めて東亞民族の福利增進は可能となるのである、東亞ブロック經濟はまづ東亞保全のため東亞の圈内における物資の自給自足を企圖するものであるが、偏狹なる自給自足を事とし、ブロックの中に閉ぢ籠るといふ事のみを目的とするものであつてはならぬ進んで東亞の經濟力を世界的に伸張せしむべきでこれがためには一日も早く東亞における需要資源の開發を圖り重要物資の自給自足經濟を確立せしめなければならぬ、しかして東亞ブロック經濟の中核として第一に着手すべきは日滿支ブロック經濟の結成にある、日滿支ブロックの經濟は歐米列强のとりつつある如きブロック經濟とはその指導精神において根本的に相違する、即ちこれにありては既に自己の勢力圈内にある植民地、自治領及び弱小國に對する政治的經濟的支配を更に强化し、いはゆる「持てる國」の現狀維持を圖らんとする目的に出たもので最も利己的なる考慮に出た

政策

であるが、わが目標とする日滿支經濟ブロックはブロック内一國の利益のために他國を犧牲にして顧りみないといふが如きものでは絶對にない、相共に東亞永遠の平和を建設する協力者として日滿支三國が互にその得失を發揚しつ〻經濟上の互助連環關係を確立し相倚り相扶けて三國全體としての向上發展を圖らんとする公明正大なる理想實現の意圖に出たものである、この經濟ブロック形成の具體的方策として金融方面においては通貨及び物價政策ならびに日滿支間國際收支に關し相互的見地に基く合理的なる統制を强化し經濟界の運轉に支障なからしめる方策を講ずる必要あるは勿論で又日滿支間物資及び勞務の需給に關し大規模な動員計畫を樹立して物資及び勞務の需給調整を圖りその最大限度の活躍に務めることも必要である、その他日滿支を通ずる陸海空の交通機關、運輸機關の整備擴充も急務である、これらの諸問題の中日滿支ブロック經濟の擴充發展上何よりも緊切なることは日滿支を通ずる產業開發で一日も早く東亞に必要なる

物資

を東亞自體において可及的に自給自足出來得るやうにし外國への依存を少なからしめるためには東亞の生產力擴充を實行することが何よりも急務である

李滿洲國代表挨拶

【東京國通】東亞經濟懇談會に於ける滿洲國李交通部大臣の挨拶左の如し

□

本大會の使命は日滿支三國經濟關係の融合を圖り產業分野を確立、生產の計畫を設定し三國一體化の下に道義に基く强固なる東亞經濟ブロックを確立するにある一方强力なる產業經濟の完全なる發展生產力の擴充に努力適應し以て東亞新秩序建設の完成を期すべきであり本懇談會使命の重大を痛感する、我が滿洲國に於ては盟邦日本帝國の內ならざる支援の下に產業開發五ケ年計畫、開拓政策及び北邊振興工作を以て三大國策として着々その成果を擧げてゐるがこれが完成には更に緊密な日支兩國の經濟的提携

を必要とする次第でこの機會に一層の御援助を切望すると共に目的の圓滑なる遂行を切望して已まぬ

鄕會長の挨拶

【東京國通】東亞經濟懇談會における鄕會長の挨拶要旨

本大會開催の趣旨は日滿一體の實を擧げ緊密なる日支新關係の實現を圖りもつて新東亞經濟建設の完璧を期するにある、今や滿洲の大地は戰雲に覆はれてゐるがこの間に處し東亞諸民族の福祉を維持增進するためには東亞諸國家間の一致團結、日滿支の經濟的相互連環の緊密化を成就することが急務と考へる、本大會を開催し日滿支の官民の間に隔意なき懇談協議を遂げる所以もまた實にこの緊密なる經濟的連繫の進展に資するに外ならないのであつて本大會は今後各地本部の整備を圖ると共に各般の事業を實施すべく具體案を考究を重ねてゐるが、右の主義により差し當り第一回大會を此處に開催した次第である

阿部首相挨拶

興亞院總裁阿部首相の挨拶

要旨

帝國の支那事變處理目的は東亞の新秩序を建設するにあり、また經濟的にはこれがためには三國の經濟的提携を實現するにある、日滿支三國の眞の民間經濟人の協力が何よりも必要である、この意味において今回の最初の大會が開かれるならば日滿支三國の發展のために寄與するところ多大である

平生氏講演

鐵鋼聯合會長北支經濟顧問平生釟三郎氏の講演要旨左の如し

東亞經濟建設は机上の計畫ではなく深刻なる觀念遊戲の問題で徒たる觀念遊戲は許さない、飽迄實現性ある企畫をもつて適進しなければ却つて終局的破綻を來す危險がある、しかしてこの經濟體制の具現のため實踐的方向には自ら段階があり分野と役割とがある即ちこれはそれぞれ自然分布の產業の發展形態を異にしてをり概略的にいへば日本が將來高度の產業國として立つべき使命の達成に對しては工業の發展に力を致すとゝもに國民生活向上のため農工業の振興に努むべく且つ東亞防衛の擔當者として國防產業の急速なる擴充强化を必要とすることは現下の國際事情に鑑み、自明の理である、一方滿洲、支那は豐富なる資源國で日本の資本技術は支那の豐かなる勞働力の協力により資源を開發し日本に原料を供給すると共に各々その地理的、經濟的條件に適合する民族產業の隆盛を期することは最も望ましい、滿洲國は最近生產資材の不足から種々の困難なる事情に逢着してゐるが、これは主として計畫運營上の問題であつて日本の產業との提携調整によりて打開の餘地はあると考へる又事變の過程にある支那の經濟建設の第一はまづ以て農業の振興にありこれは國民生活の安定の上からも治安工作の上からも喫緊の要務であると考へる、政治建設も文化建設もこの基礎の上に立つてはじめて達成されるものである

自肅に迎へる二千六百年元旦
例月の奉公日同樣

【東京國通】聖戰下全國民が自肅の裡に迎へる昭和十五年の元旦も漸やく間近に迫つたが本年は特に皇紀二千六百年の輝く元旦であり又この日が恰も興亞記念日に相當することゝて全國民はこの元旦を如何に迎へるべきかについて種々對策を進めてゐたがこの程これ等實踐事項の取扱について東京府國民精神總動員實行部では警視廳その他關係方面と協議の結果、大體正月でも普通の月の奉公日と同樣禁酒禁煙一汁一菜等の實踐事項は何等變更しないことに決し聖戰の目的遂行のためお正月でも市民は自肅自戒の生活を續行することゝなつた、右は全國民に呼びかける模樣である

農村地區長會議

市公署行政處では六日午前十時から第一會議室で荒行政處長、岸水行政科長並に農政地區長約十五名出席裡に農村地區長會議を開催、一、康德七年度蔬菜栽培面積に關する件

一、種子、肥料申込に關する件

一、農村地區實情視察に關する件

ほか二件を協議したが、特に康德七年度から三ケ年計畫による增產計畫に基き栽培面積の增加と共に農家經營の改善を圖る蔬菜の自給自足工作については明年度は栽培面積一千二百晌で收穫量四百萬貫を生產すべく市は農村に對して補助指導の改善をなし農民と一致協力して增產計畫の目的達成に邁進することゝなつた

大同學院中堅指導者赴日團歸る

關西、九州地方の政治、經濟、文化を視察中であつた大同學院中堅指導者訪日視察團第二班班長佐藤愼一郎教官以下一行廿六名は五日午後九時卅分新京着列車で、羅津經由無事歸京したが、同じく東北、北海道を巡察の第一班森山正教官以下廿五名は相ついで六日午後四時廿分新京着列車で歸還したなほ同學院では八日午後一時五十分から講堂に於て旅行報告座談會を開催する

農林科長會議

康德六年度第三次農產豫想調査の査定を行ふべき全滿農林科長會議は六日午前十時より軍人會館に各省農林科長、石坂農務司長出席の下に開催、石坂農務司長の挨拶あつてのち各省農林科長より各地方別の作況報告あり次いで査定に入り本年度作柄に關する長所短所、今後の對策、施設或ひは來年度に於ける增產方針に對し質問等あり種々懇談を遂げた

滿洲飛行機擴張
日本業者積極的支援

滿業の子會社滿洲飛行機では滿洲航空會社より製作部を讓り受けて小規模の飛行機生產を行つて來たが今後三菱、中島等日本の飛行門製作會社の積極的支援によつてその設備擴張を行ふことゝなつた、即ち滿業では設立當時より外國よりの資材技術の導入による大規模生產を企圖してゐたが今回これとは別個に日本の資材技術による生產設備の擴張を行ふ方針を樹てたもので既に政府當局の斡旋により日本業者との間に資材並に技術の提供方につき話し合ひも濟み目下その第一期擴張が進捗中である、これによつて同社としては相當の資金を必要とする譯であるが既に數千萬圓の借入金を行つてゐるので來年初頭には一億圓程度に增資を行ふものと推察される

正月用慰問品百卅六萬個發送
兵隊さんは大喜び

【東京國通】長期戰下に銃後國民の合言葉となつてゐた「前線兵士の慰問」の聲も最近やゝ下火になつたのではないかといふ一部の杞憂を吹き飛ばしてこの程陸軍省恤兵部から聖戰第四年の新春を現地で迎へる兵隊さん達のために正月用慰問袋百三十六萬個が發送された、一袋一圓見當といふからこれだけでも百卅六萬圓の巨額に達し銃後國民の赤誠を物語つてゐる、この程約一ケ月に亘つて北中支の戰線における皇軍慰問狀況を視察して歸つた陸軍省恤兵部々員河上守中佐の話によると

事變當初に比べて今では戰線も全支に擴がり兵隊さんも多くなつて來たから今まで二個もらつてゐた慰問袋も一個に或は一ケ月に一回の配給が三ケ月に一回といふやうになつて來るのは已むを得ない、自分の視察中にも停車場の倉庫に慰問品が足ぶみしてゐたのを見た、慰問袋や恤兵金は最近決して少くなつてゐない、全國はもとより滿洲の同胞からも絡々横濱に入港する度毎に慰問品がどんどん來てゐる、そして事變の長くなるのにつれて一ケ所に駐屯する部隊が多くなつて來るため慰問品も恒久性のある娛樂機關等が要求されるので、最近では發電機附の映寫機や野球やテニス用の運動具或はラヂオ、蓄音機等が著しく殖えて來た

破產和議法の草案を檢討

滿洲國內に於ける破產和議に關する係爭事件の解決および債務者の更生に重點を置く破產和議法制定に着手した司法部は其の第一草案の立案も完了したので、五日午後二時より最高法院に於て及川司法部次長、井野最高法院次長、萬歲最高法院審判官、土肥民事司第二科長、小木參事官等集合、民事法審議委員會第三部會を開催立案せる破產和議の法律案に就き種々審議を重ねた

秘露から支那人締出し

【リマ四日發國通】最近入港の英國船で來秘した五十一名の支那人中三十四名の不正入國者が發見されたが從來ともかゝる例は屢々あるのでペルー政府は遂に十一月三十日附をもつて爾今支那人の入國を一切禁止する布告を發した

第四回語學檢定合格五三七〇名

第四回語學檢定試驗の結果は五日左の如く決定した

△日本語（滿語用）特等一、一等九三、二等四二八、三等三七一六（俄語用）特、一等なし、二等六、三等一八（蒙語用）

△滿語（日語用）特等一九、一等二一、二等一七七、三等六六、三等七七五

△俄語（日語用）特等三、一等一二、二等一五、三等二二

△蒙語（日語用）特等なし、一等一、二等二、三等五

專賣總局增員

來る十日の小麥粉專賣實施に伴ひ經濟部では分科規程を改正して專賣總局內に製粉科を設置するとともに地方專賣署の機構擴充を行ふ事となつたが之等事務增加のため所要の職員百五十名を增員するの件は四日國務院會議の通過を見たので近く參議府會議の諮詢の後ち直ちに實施する事となつた

紀元の佳節に全滿大會開催
吉林のスキー暦

全滿スキーの聖地、北山スキー場開きは十日擧行されるが吉林の冬季スポーツ日程は大體次の如く決定した

▲十日＝北山スキー場開き▲十六、七、八日＝吉鐵スキー部主催、スキー講演會（北山）▲九日＝吉林市體協スキー部主催スキー座談會（日満グリル）▲十六日＝同スキー、スケートの夕（公會堂）▲廿四日＝同氷上選手權兼第二回全滿第二部選手權吉林豫選（朝日校）▲一月十四日＝吉林スキー選手權全滿豫選（北山）▲廿一日＝全滿戶外總動員スケートデー、吉鐵スケート大會（朝日校）▲二月四日＝吉鐵スキー大會（北山）▲十一日＝第二回全滿スキー大會（北山）

尙吉鐵ではスキーファンのため新京—吉林—土們嶺間▲吉林—土們嶺間▲奉天—南雜木—山城鎭間▲撫順城—南雜木—山城間に去る五日から明春三月廿日まで土、日曜並に祝祭日當日及びその前日に限り往復續行券を發賣

結婚記念國防獻金

五日午後關東軍を訪れた一婦人が「結婚一周年の記念に僅かですが國防獻金したいと思ひます」と一錢銅貨ばかりで十圓を差出し感激させた、この婦人は市內吉野町德ビル西號中央通三上洋行勤務秋山芳城氏の奥さんみよしさん（廿八）で昨年結婚して以來釣り錢のうち一錢銅貨のみ貯金を勵行して十圓になつたので結婚記念日に國防獻金をしたものと判つた

佐藤滿鐵副總裁

佐藤滿鐵副總裁は五日午後九時卅五分新京着ひかりで來京したが、滯京中の佐々木副總裁と共に十五年度滿鐵豫算につき關係方面と打合せを行ふことゝなつた

民の声

投稿歡迎、但し中傷に亘らざるもの

兩合作社統合問題

（晋邱生）

貴紙の報道する所によると新合作社制度に於ける中央機關と單位合作社との關係について、委員會の意見が二段制と三段制とに分れて相當强い主張が行はれた樣である、此問題は委員會の意見が容易に一致しなかつたと云ふ程極めて重要なもので、新機構が其機能を十分に發揮し改革統合の意義を全うするかどうかと云ふ事も實は此點に關係することが頗る大で、新機構を研究し新機構に多大の期待をかけて居る限りのものは皆此決定に重大なる關心を持つて居るだらうと察する、

單位合作社が直ちに中央機關に聯合することは二段制であり、中央機關の支部が此間に介在することは形式的には三段制らしく見えるが、本質的には二段制であるから、三段制は單位合作社と所謂中央機關との間に今一つ三中間機關、恐らくは省を單位とする聯合會を置くと云ふことであらうが此主張をなすものゝ肚には何も今の農事合作社の運營が先入主となり、農事合作社が恰も縣行政の一機關であるかの如く運營せられて居る例に倣つて省聯合會を設け、省行政と緊密なる連繫の名の下に省政其物の一部を分擔せしめんとする考へ乃至省政の便宜に資したいとの底意があるのでないかと思ふ、然し夢見て居る所の現在の農事合作社の行き方が協同組合の本筋から分離して居り、早晚大改革を必要とするものなる事は極めて明なる事實であり將來性のないものであると云ふ事は少しく協同組合發展史を知つて居るものには疑問のない所である、折角新機構を作ると云ふ以上何にも此んな失敗明白な軌道外れの轍を追ふ要はない、二段制か三段制か、端的に云へば省單位の聯合會では其規模が小さ過ぎる、規模の小さいと云ふ事は機能の發揚を十分にする事が出來ないと云ふ事である、殊に省勢に大小懸隔の夥しい現狀では省によりて會員に及ぼす惠澤が區々となるのみならず、貧弱にして最も協力が少ないと云ふ協同の本旨に矛盾する結果を招來する虞が多く、また省單位では資金の偏在が著しくなりて調節せんとしても廿一の經濟が獨立して居る爲に決して無碍でないのみならず犧牲を强ひらるゝ事大なる方面の積極的活動を鈍らす懸念がある、更に弱小の群立は兎角收支經濟の成績を競ふ結果に陷し勝ちで、大目的の外に經營墮落の懸念が濃厚である、二段制か三段制かを決定する生きた例は朝鮮にある、朝鮮が曾て三段制を採用して行詰り二段制を採用するに至つたことむよび朝鮮金融組合が二段制となつてから今の如く大飛躍的活動をなすに至つたものであると云ふ事實は以て他山の石とするに足る三段制主張者に心からなる一考を煩はしたい

移民地椿事から二年目を語る

隻手となるも開拓に盡さん

本田忠雄氏訪ねて

東京牛込戸山町の陸軍々醫學校第一病棟に戰傷軍人と同様に齋藤軍醫大佐の手厚い治療を受けてゐる隻手の民間の人がある、元高松高商講師、前香川縣香西町助役本田忠雄氏(四〇)で手術の痕も生々しい顔面の鼻、唇、不自由さうな隻手は氏の「大陸先驅者」としての物語りを象徴するものである、話は

昭和四年 から始まる、本田氏の郷里香川縣高松在の香西町は戸數八百、半農半商の町であるが農家は耕地面積少く商家は小資人の共喰ひで極度に疲弊を來し更生に惱んでゐた、當時京大經濟學部を卒業して高松高商に教鞭をとつてゐた本田氏は町の更生の爲郷黨から懇望され高商講師の地位を捨て「貧しき町」香西町の助役となり更生に努力、昭和八年任期滿了したが留任を懇望され在職八年その間香西町を農林省の經濟更生指定町として診療所共同倉庫、共同作業場の設立、產業道路の開設、學校の改増築、港灣の修理等をなし亦青年團長となつて青年の指導に努めたが、この頃より滿洲開拓民の送出の必要なる事を確信、且これが町を抜本的更生さす道であるとして自ら團長となつて大陸に骨を埋める決意を固めた、丁度この頃大日本青年團主催の全國青年團指導者滿洲移住地視察があり氏は縣の命令でこの一行に參加することになつた、昭和十二年暮一行は渡滿、彌榮村開拓地に宿泊したがその頃の

開拓地は 未だ今日の様な安心出來る平和郷ではなく、土と戰ふとゝもに銃を持つて匪賊に備へなければならなかつた、十二月十日夜の事である、歩哨に立つてゐた開拓村の石川(假名)といふ青年が抽彈中、過失から爆發彈は就寢中の本田氏の額、鼻、唇を破つて左腕を盲貫した、本田氏は直ちに彌榮病院に收容されたが左腕は瓦斯壞疽菌が入つて腐敗し佳木斯の滿鐵醫院で切斷しなければならなかつた、そして治療ははかばかしくなく生死の境を一年寒暑の滿洲に送り小康を得た十三年正月内地に歸ることになつたが、この時最後の見舞とお詫びに來た石川青年の肩に本田氏は隻手をかけ

僕は滿洲で生涯を開拓のために働かうと思つてゐたが、この身體では再び來る事が出來ぬかも知れない、しかし何事も災難だと思つてゐる、しかしこの傷は生涯を開拓に盡せと神様から與へられたものと思ふ、君は日滿協和の第一線にある大事な身體だ、君の身體にして君の身體ではない、僕の分と二人前を君はやつてくれなければならぬ、過去の事は何事も考へず成功に努めてくれ給へ……

と激勵するのだつた、かつては自責の念に自殺迄企てた石川青年はこの言葉にその場に

泣き伏し 並居る人達も皆泣かされた、かくて本田氏は親戚や大日本青年團の高橋拓殖課長等に看護されつゝ歸國、大阪の帝大病院で治療し昭和十三年六月退院、再び香西町助役として義勇軍や開拓團の送出に努め、この結果第一次義勇軍の成績は全國で第三位となり、亦來春には香西町及び近村をうつて開拓團香西村が滿洲に生れる事となつた、本年四月三度助役留任を郷黨より懇望されたがこの頃本田氏は顔面の傷が再び惡化し、香川縣知事や大日本青年團滿洲移住協會生駒理事等の斡旋で牛込の陸軍々醫學校病院に入院したが、最初は大日本青年團方面からも治療費が出たものゝ氏自身も既に數千圓を費し、最近では田地、田畑を殆んど賣拂ふと言ふ悲境にある有様で關係方面では事實公傷である氏の負傷に何とか救濟の方法を講じようと協議中である、牛込の軍醫學校第一病棟に本田氏を訪れると

傷は來春二、三月頃には良くなると思ひます、再び郷里へ歸つて町の爲め働くか身體の状態さへよければ滿洲へ行きたいと思ひますが、果して行けるかどうでせうか、寒いとこでも傷が痛むのです、しかし内地に居るにせよ餘生を滿蒙開拓に捧げる決心です、皆様に非常に心配をかけてゐますが、本當に私を慰めて下さる事は一人でも多く滿蒙の天地に發展して下さる事です

と白衣に 包まれた氏は顔面を紅潮させて語るのであつた【寫眞は白衣姿の本田氏】

白菜料理 調理法五種

黄身酢かけ 白菜は洗つて株のまゝ三、四ヶ所を竹の皮の裂いたものでしばり、鍋に入れてひたひたに水を加へておしをしてゆつくりと柔らかくなるまで煮る、後取り出して一株を二つに分けて再び別々に二三ヶ所しばり、煮出汁の中に入れ、鹽、醤油を加へて煮る、まな板の上にとり出して三、四センチぐらゐに切り深皿にもりつけ黄身酢をかけて供します、黄身酢は卵黄三ケに對し片栗粉大さじ一杯つぶの出來ないやうに少しづゝ加へて十分まぜ合せ、煮出汁一合と味淋大さじ三杯をまぜ入れ、弱火で手早くまぜながらとろとろにして白菜にかける

胡麻浸し 白菜を四つ割りにして揃へたまゝゆでる、これを三センチ位に切つて器にもり上から胡麻醤油をかける、胡麻醤油は胡麻をついですり醤油、砂糖を加へて作る

衛生煮 葉を一枚々々はがして熱湯に投じてざつとゆで水を切つておく、干エビを水にしたしてやはらかになつたらは水を切り細かにきざんでおく、豆腐の水を切り、細かにほぐしメリケン粉と干エビをまぜて鹽を少々入れ、白菜に程よく包み、細い竹の皮でしばつて鍋に入れ、冠るくらゐの煮出汁を加へ、暫く煮て油を加へ鹽とコセウで味をつけ十分煮込み、火から下す前に水ときしたメリケン粉を靜かにそゝいで汁にねばりをつけて供す

鹽鮭の白煮 鹽鮭は五分角位に切る、馬鈴薯と人參は亂切りにタマネギは荒く切る、鍋に水を入れ次に鹽鮭、野菜類を順に入れて煮込み、鹽、コセウで味付けをし最後に片栗粉の水ときしたものを入れる

カレー汁 白菜を三センチ位に切る、馬鈴薯と人參を亂切りにし、タマネギを二つ切りにして小口から薄く切る、鍋に水を入れ材料全部を入れて煮、鹽で味付けし最後にカレー粉を少々入れてぴりつとするやうに味付けする、豚肉または干エビなどを入れゝばなほ美味しくなる、白菜はよくあらつて用ひないとムシのついてゐることがあるから氣をつけることです

蕎麥の風味

發育上大切な種々の榮養素を持つてゐる

そばの原料はそば粉と小麥粉でありますがそば粉は小麥粉よりも榮養價値が大であり、これは蛋白質の含量が多く且つその質も良質のもので例へば發育上必要なアミノ酸であるリヂン等を多量に含んでゐるからであります、この蛋白質は水に溶け易い性質を有つてゐるからそばを食べるとき蕎麥湯を合せて飲む事は合理的であります、そばは水を加へて粘ると相當の粘り氣を有ちますがなほこれを打ち易くするため普通小麥粉を加へます、然し小麥粉の加へ方が多ければ多いほどそばの風味が減ぜられ榮養價値も低下される、そばは又昔から便通をよくする効があるので知られてゐますがそれは比較的多量の纖維を含有するからであり、そばの灰分は燐酸に富み從つてこれは酸性食品でありますからそばを食べるときアルカリ性食品例へば蔬菜類を添へることは榮養上考へた食べ方であります、そば粉はビタミンとしてビタミンBを相當多量に含有しこれはそばを煮た場合にも大部分殘つてゐるといはれますがこれも色の白い精白したそば粉を原料としては効果が減ぜられるものである。

義手の飛行勇士像 今迄に類例のない作業義手をつけた傷痍軍人の飛行服姿の木彫が今回軍事保護院に寄贈され本庄總裁も感激してゐる、これは三重縣宇治山田市の小學校の先生で彫刻家の岸村忠治氏作で今秋の第二十六回院展に「某氏」と題して入選したものである【寫眞は感激の本庄總裁と木彫像指させるは義手】

滿洲河柳を工藝材料化

堂々ミラノへ進軍

全滿各地の河川沼澤に密生繁茂して匪賊の隠れ場所となり治安の障害と憎まれ勝ちだつた河柳が、吉林指導所の研究により家具セットの材料として工業化され、明春四月伊太利ミラノで開催の國際見本市に堂々出陳その汚名を見事雪ぐ日が來た、長谷川吉林工業指導所長は着任當初から全滿到るところに繁茂する河柳の工藝化を企圖し三年來の鏤心研究をつゞけた結果、椅子卓子の材料たる籐の代用品として極めて優秀との確信を得たので、かねて親交のあつた仙台の籐細工名人佐藤珠吉氏を招聘、去る十月七日以來その指導により河柳の枝を四つに割り中味を除いた材料で、椅子、卓子など應接用家具セットの試作に成功、その體裁、耐久力、値段等何れも申分なしと各専門家からの折紙もつけられたので南歐ミラノに「滿洲情緒」たつぷりの製品として出陳することとなつたものだ、碧眼家庭に歡迎されるやうになれば輸出國策上大したことだと所員一同ハリキつてゐる

母國訪問記 (十二)

錦ヶ丘高女旅行團

十一月六日午後零時一分坊中着、同四時六分坊中發、同五時二十八分熊本着、藤江旅館宿泊

坊中驛に下車、一時晝飯を取り、やがて大自然の偉業を早く見んものと心をおどらせながら、私達は遊覽バスに乘りました、案内ガールの興ある節廻しの説明は心を打ち窓外の景も紅葉に色づいてバスは坦々たるドライブウエイを驀進する杉、檜のすく〳〵のびた植林地帯をぬけでると一面のすゝきの原、秋の氣色も一しほに感ぜられる、まもなく眼前に鋸の齒のやうな山嶺をした根子岳があらはれる。續いてざくつと切りそいだ様な山膚をした往生杵島の雄嶽が左の窓を過ぎる右の窓からは遙かにカルデラ地帯が望まれる。赤い洋館の屋根、黄色にみのつた稻田、平和な田園の風景にその昔身の毛のよだつ慘劇のその場所も今は三町十一ケ村、六萬の同胞が日々をおくつてゐるのかと思ふと感慨無量だ。これらを圍繞する全長三十二里の蜿蜒たる外輪山は頂をつらねて、その彼方には、來世の幸があるかと疑はれる。徳富蘇峰氏の命名された大觀峰も北方にその姿をあらはす。まもなく土まん頭のやうな美しい形をした米塚があらはれる。古坊中にさしかゝると、この山中に一寸奇異に感じられる新しい橋を渡る頃より噴煙は體よく望まれる、隆々の大地の起伏、一木の影も失せて眼の集中は唯噴煙に、古坊中は、神龜の昔、聖武帝の勅願により阿蘇山上に觀世音の堂宇が安置せられ之に勤める僧侶が多數住んでゐた所です。今上陛下御駐輦の御場所を過ぎ、爆發火口跡と言はれる二十萬坪の草千里岳は一望千里、湖水にも白煙の影寫り、右手に近く烏帽子岳一幅の活畫のやうな美しさにうつとりしてゐると、だんだん硫黄の香が鼻をついてくる。阿蘇に近いのだ。心は唯おどる。まもなく山上神社前でバスを下り神前にぬかづいて後眞黒な火山灰をふむこと約八丁、頂上に立てば、直徑六百米の火口より、黒煙もう〳〵渦巻きながら天に沖し、鳴動微かに、火口壁はけづり取つたやうな絶壁をなし、歩みも危ぶまれる。四方を見渡せば高岳が、烏帽子岳がはた阿蘇谷が清淨神秘な景をみせ、ひし〳〵と迫る火山の魅力に、壯觀に、崇高、偉大を感じてたゞ忙然と見入るばかりであつた。世界の名山阿蘇とうなじを垂れさせ、我等の感銘一しほなり。

秋の空うらぶれ雲は霧ごと、阿蘇につどひて凪ぎゐる日なり(牧水)

この阿蘇は肥後と豐後にまたがり、東西四里、南北六里、周圍三十二里にわたる火口を持ち、その中には久遠の火を噴く中岳を始め根子岳、高岳、烏帽子岳、杵島岳が屏立し、世界第一の複式火山であります。

それからしばらくして、激しい山への愛着にかられながら火口をおり、茶亭に憩ひ下山いたしました。

熊本 午前八時半頃宿屋を出發。二台の電車に分乘して、公會堂前で電車をおりて御幸橋を渡る。外堀には櫻の枯木の影がうつり谷村計介の銅像を右に見て御幸坂を登れば、左右の櫻樹は春の盛りを夢みるばかり、彈丸の跡なほのこる飯田丸跡、清正公會心の要害西出丸跡を過ぎ、數奇屋丸門跡を通る。宇土櫓の見物は時間が早い爲に、先づ天主閣跡にのぼる。明治の新兵制と新武器と新戰術を試練して、今日の軍國日本の基礎を築いた西南の役も毅然として聳えてゐた巨城を一片の煙と化したのだ。關ケ原の戰の翌年より清正公が六年の年月を費やされて築城された熊本城も今はむなしく影うせて、月見櫓に立つて市街を見下せば、朝日に輝く街々はほんのり霞に包まれて、阿蘇の噴煙もかすかに、天草島も見られぬが、一丈の霞の上には南部の山の頂か灰色をあらはして、美しいのどかな朝景色が見られた。西方には畏くも明治天皇御駐輦の御跡大正天皇、今上天皇兩陛下が未だ皇太子であらせられて御西遊の途次御台臨遊ばされた御跡がある。其の附近からは金峰山をはじめ花岡山などの西山一帶がのぞまれる。谷干城將軍の銅像の前で、攻むるに難く、守るに安いこのお城の築城のお話や、清正公御手植のいてう樹や、この台上にある井戸、首掛石の由來など興深くおきゝしてより引返して宇土櫓を見物する。之は元宇土にあつたのを小西滅亡後清正公が持つてこられたもので、西南の役にも奇しく燒失をまぬがれ、菊花にほふ秋空にりつ然と聳えてゐた。名古屋城を正門遠く眺めた私達の心は始めて近く接するお城の建物に昔時をそゞろ偲ぶ。第一階には(熊本城の繪圖がある。その大繪圖に西南の役以前の熊本城がいかに壯觀を呈したかがしのばれ「國破れて山河在り、城春にして草木深し」の杜甫春望の詩句も思ひ出され、無常に胸つまる思ひがし涙する。それから清正公御一代の誠忠忍ばる數々の御事が人形で形づくられてある。或は二條城會見秀頼公供の圖、或は豐國神社遙拜の圖、さながらその場に臨んでゐるかのやうに感ぜられた。晉州城攻撃に用ゐたといふ儀太夫考案の龜甲車はタンクの先驅なりと聞いて、既に三百年前の戰にこの武器が使用せられてゐたのだと、しばし驚きの眼をみはる、横井小楠始め肥後の人傑の中で元田東野先生の塑像はながめる人に襟を正させる。二階には歴代の司令官、師團長の御寫眞や遠く熊本の藩主の肖像がずらりとかゝげてあり、第三階には西南の役に關係せられた官、熊、薩諸將の御寫眞が各一室あてに掲げてあつて、興味深く眺め入つた。第四階には此の宇土櫓を背景としてお寫りあそばされた閑院宮殿下の御寫眞や、有栖川宮熾仁親王はじめ日清日露の兩戰役に關係せられた奥、兒玉、川上の各將軍のお寫眞も有りました。櫓の頂上第五階に昇ると、四方の窓の上方にその方面の展望の見取圖がかゝげてある。東方には阿蘇の連山が西方には金峯山始め西山一帶があらはれ西南役の激戰地藤崎臺段山は眼下に見える。北方には眼前に本妙寺山があらはれ清正公の廟所淨池廟が望見される。南方には木原山その裾には緑川が流れてゐる。この樓上に立つて眺望をほしいまゝにするとき、慶長の昔のことごとが頭をめぐり、いひ知れぬ感、胸中に湧然と湧き立つ。天下の名城熊本城にわかれて、今度は水前寺公園に行く。(元治淑子記)

ラヂオ けふの番組

七日(木曜日)【M・T・C・Y】【新京放送局】

朝

七、三〇(新京)建國體操
七、四八(大連)入港船のお知らせ
七、五〇(新京)ニュース
八、〇〇(大連)中等滿洲語講座 幸勉
八、二五(大連)朝の音樂(レコード)ヴァイオリン小品集、セレナーデ(ドリゴ作曲)他五曲
九、〇〇(新京)氣象通報
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東・奉)經濟市況
九、四五(新京)建國體操
一〇、〇〇(大連)經濟市況
一〇、〇五(新京)幼兒の時間(レコード)童謠玩具箱
一〇、二〇(奉天)家庭の時間「七分搗の話」醫學博士永積三司
一〇、四五(新京)家庭メモ
一〇、五〇(新京)科理獻立
一一、三五(奉天)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇一(新京)晝の演藝(レコード)ハープ協奏曲と獨唱曲 一、ハープ協奏曲、ハープと管絃樂の爲の小協奏曲(アンリ・ピュッセル作曲)リリー・ラスキン 二、獨唱(イ)「ラ・ポエム」より、冷い手(ロ)「アフリカナ」より、おゝ樂園よ(ハ)「アイーダ」より、淨きアイーダ(何れもユッシ・ビエーリング)
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(奉・連)經濟市況
二、一〇(奉・連)經濟市況
三、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東・新)ニュース、氣象通報
四、四〇(奉・連)經濟市況
五、二〇(奉天)ニュース 演藝「鮮語」

晩

六、〇〇(東京)子供の時間、童話、丘の上の萬歳(加藤てる緒作)
六、二〇(東京)コドモの新聞 原勝
六、二五(哈爾濱)初等ロシア語講座 櫻木新吾
七、〇〇(東・新)ニュース、告知事項
七、三〇(新京)國民の時間
七、四〇(東京)落語「一醱豆腐」春風亭柳好
八、〇〇(東京)管絃樂、國民詩曲第一夜(日本放送交響樂團)一、明石海峽(菅原明朗作曲)指揮菅原明朗、二、茶切節に依る前奏と歌、指揮大中寅二、三、東北と關東(須賀田礒太郎作曲)指揮金子登
八、四〇(東京)特輯座談會「物の經濟を語る」司會、經濟學博士太田正孝、商工省商務局長東榮二、日本商工會議所理事松井春生、陸軍主計少將、經濟學博士森武夫
九、三九(東・新)時報、ニュース、ニュース解説、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(講話)

學藝

戲曲 日出（九十）

曹禺作　大內隆雄譯

潘　（荒々しくなり卓をたたき）だまれ！もう言ふな！

李　言ひますよ、すつかり言つてしまひますよ――この年老りの馬鹿め、この生れつきの犬め、あなたは明き盲だ、頭が混亂してしまつてゐるんだ――

潘　（とび上り）ふん、ぬかすか、貴樣をやつつけてやる。（李と爭ふ、李の首をつかんで――）

（白露が駈け出して來る）

露　月亭、月亭さん。その人をお歸しなさい。

李　（彼の首は潘につかまれてゐる、もがく）殺せ！さあ殺せ！だが、金八はお前を許さんぞ、戸口に……戸口に……

潘　（手を放し）門口に、何だ？

李　門口には黒三がお前を待つてるんだ、金八がさう命令したんだ。

潘　何…何のためだ？

李　あんたが逃げるのを押へるためだ、黒三たちに番をさせてるんだ。

露　（やゝ間、潘うなだれる、低聲に）金八！金八！何處へ行つても、あの男がゐるんだわ。

潘　（俯向き）あいつ俺を殺さうとするんだ！（忽ち李に向ひ凄く笑ひ）ふん、今ぢや貴樣も多分滿足なんだらう！

李　（潘を見、だまつてゐる。）

（電話のベルが鳴る。）

潘　白露、君聞いてくれ、多分金八からなんだらう

李　私が聞こう。

露　いえ、いえ、私聞くわ。（すでに受話器を取る、李と潘は左右に立つ、二人は緊張して彼女を見てゐる）はい、どなた？こちら五十二號ですわ！え、何ですか？李太太…あ…は……石濤さんを？石濤さんはこゝにゐらつしやいます（振り向き李石濤に）李太太が醫院から電話です

（潘はぐつたりとソーファに掛ける）

李　（受話器を取る）石濤だ！醫院に行つたんだね、おう、おゝ…小五がどうだつて？（あせる、さつき無關心だつた態度とは全く違ふ）何？もう一度言つて御覽……はつきり言つて……何？小五、息がとまつた？うん？（間、呆然としてゐる）それぢや醫者を呼ばなくちや！（苦痛に、卓をたゝく）醫者に言ふんだよ！でも錢を持つてゐるんだらう？錢を拂ふんだよ、錢を拂ふのさ…何？…途中で…死んだ…死んだ…（眼には涙が出て來る）おお、おお…途中で死んだのか…父ちやんて言ひながら…死んだ…そして息が絶えたんだね。（もうあとを聞く力がない、受話器を置く、泣き出す）おお、子供！…おお…小五……（急に又受話器を取る）直ぐ行くよ、直ぐ行くよ（李石濤、帽子を取り、涙を拭いて潘を見る、潘もぼんやり彼を見る、李は中央の戸から出て行く）

露　可哀さうに！月亭さん一體あなた方どうなすつたの？

（遠くで鷄が鳴く。）

潘　白露、お客歸つたかね？

露　もうとつくに歸つたわ。胡四と顧八だけかゐるわ

潘　あゝ、こんな日つてあつたらうか？白露、君待つてくれ、僕は新聞社の張さんと相談をせねばならん。

露　月亭さん、あなた幾らか好くなつて？

潘　あゝ、まあいゝよ、一寸あつちへ行つて來る、直ぐ歸つて來るよ。

露　あなたもう歸るの。

潘　いや、直ぐ歸つて來るつて言つてるぢやないか

露　いゝわ、行つてゐらつしやい。

（潘、中央の戸より退場）

創作 秋（三）

鮎川若彦

（二）旅順の宿

「やせたね……」

ボストンバックを提げて下りて來たフミにから言ふと、

「さう、でも顏色だけはこれで良くなつたつもりよ…」

さう言つて、きれいな齒莖をみせて、につこり笑つた。私はなぜフミが出て來たかを聞きたかつた。しかしなんだかそんな問題にふれたくないと言ふやうな氣持もあつた。どうせきいたつてきかなくつたつて同じことだ、逢ひさへすればそれでいゝ、この戀愛に理論なんて一つもないのだから逢ひたくなつたから逢ひに來た。それだけでいゝのではないか。さう思つた。フミは自動車の中でも思ひなしか元氣がなかつた。肩で私をつゝきながらよく笑ふ彼女の癖も今日は出さなかつた。

「ほんとにやつれたね…」

「氣のせゐでせう、もうすつかり良くなつたのよ…」

下宿についてから私はハッと身體をうたれるものに出合つた。「姙娠だな」と思つたのである。あまり目立たないけれど、どうも身體の樣子が平常でない。私はかんと頭を槌で打たれたやうに思つた。

座布團に坐つたフミの身體をじつとみつめてゐると彼女はうなだれた顏を默つてあげた。眼に涙が、と思ふと急にころ〱と坐の上に落ちた。

「汽車でおつかれでせう眠れまして……」

下宿の奥さんが、お茶をすゝめながら言ふと

「病後だつたものですからそれに昨夜寢台がとれなかつたとかで隨分つかれてゐる模樣です、今日は一日ゆつくりこゝで寢てゐて貰ひませう」

「それがいゝですわね、何なら私が街をお案內してもかまひませんけれど…」

「奥さんは今日もお花でせう、いゝですよ、ほつておいてやつて下さい、こいつとても寢坊で昔から有名な娘さんですから」

「まあ…」

フミは淋しくとがめるやうににらんだが、それがすぐ哀願するやうな、うつたへるやうな色にかはるのだつた。それを無理に振切つて、

「ぢや一寸行つて來ます、あなたはこれでも出して寢てゐて下さい、男くさくていけないかも知れないけれど」

「私が出しますわ…」

「ぢや」

私は全くのがれるやうにして外に出た。不意になにもかも根こそぎ持つて行つてしまふやうな衝動をすこし冷靜に考へたいと思つたからだつた。私は今更ながら自分の無責任を悔いだした「お互がすきだから仕方がないのだ」

私はから考へてゐた。「永く妻に別れて滿洲に生活してゐる男であれば愛人との交渉も許されて良くはないか」

そんなことも考へた。一應はそれで良かつたかも知れない。たとへどんなになつたにしてもフミが、もつとづう〱しい女で、自分本位の女だつたとしたら、どんなに自分の責任も輕くなつたかも知れないのに。私は自分を責めた。故鄕の妻を思ひ出した。妻は自分にはすぎた妻だと私は眞實思つてゐた。女の美しいところだけをあつめたやうな女だつた。たゞ缺點と言へば身體の弱い事だつたらう私は眞實妻がすきだつた、結婚してから八年、年とともに妻を愛する情は深まつて行つた。そんなに妻を愛しながら、なぜまたフミへの愛情にはいらねばならなかつたか。無責任と言へば無責任だつたらう。しかし精神的な生活のみではみたしきれない若さがあつた。今も妻への愛情にも尊敬にもいさゝかのゆるみもないと信じてゐた。それだのにフミへの責任も充分考へないでは居れなかつた。自分のこの失敗を妻がきいた時のなげきはどうであらう。滿洲と內地と數百里をはなれ住む身には、信ずる夫のこの過失がどんなに强くひびくであらうか。私は何にも知らない子供達の片假名の手紙をポケットににぎりしめながら、落葉の途をとぼとぼとあるいた。役所についても午前中はたゞぼんやりとしてゐるだけで、

「米草さんおかげん惡くない」

などとタイピストにからかはれたりした。しかし午後は割合落付きをとりもどして來た。なるやうになれと言ふ糞度胸が出來て來た。私は四時うつとすぐ外に出た。自動車をよびとめるとすぐ鏡ケ池と命じた。下宿の前で車をとめておいて、二階に上つてみると、フミは窓にすがつてあみものをしてゐた。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲儲蓄債券宣傳普及ラヂオドラマ脚本集（滿洲興業銀行）

△電々（十二月號）高田保馬「日本文化の世界的地位」綠川貢「望鄕」（創作）坂井艶司「師走斷想」その他（新京、電電倶樂部、四十錢）

身邊小說

寺崎浩「WHAT ISWHAT!」（『文藝』十二月號）

この寺崎といふ人には、滿洲に働きに來てゐる日本人の一家を描いた作品があつたが、この小說を讀むとまるで別人が書いたもののやうに思はれる。豐富な才能を持つた作家であることが知られる。割り合ひこの小說には高名な人の娘を貰ひ、そのために却つて苦勢してゐる一人の畫家が描かれてゐる。妻の實家には妻の兄が二人ゐる、その弟の方が家を早くから出てゐて、少し歪んだ人間になつてゐる、彼のためにも種々迷惑を掛けられたりする。しかし自分の憤懣のやりどころは何處にもない。さういつた境遇にゐる自分を描いた身邊小說であるが、好感で讀めるのは作者の氣の好さのせゐであらう。才能ではあるが、發展性はない。（御垣衛士）

新年文藝懸賞募集

規定

一、創作（小說、戲曲）四百字詰原稿紙二十五枚以內
一等　二十圓　一名
二等　十圓　二名
選外佳作　本紙三ヶ月分贈呈券

一、詩（題隨意一人一篇）
一等　十圓　一名
二等　五圓　一名
三等　三圓　一名
選外佳作　本紙一ヶ月分贈呈券

一、短歌（一人三首以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分贈呈券

一、俳句（一人三句以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分贈呈券

一、川柳（一人三句以內題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分贈呈券

銓衡

各種とも本社內に設置の銓衡委員會に於て入選を決する。

注意

短歌、俳句、川柳はハガキを使用されたい。創作、詩は原稿紙。原稿は返戻せず、送り先は「新京永樂町四ノ一新京日日新聞社編輯局」宛、なほ封筒表皮、ハガキは裏面に「新年文藝應募原稿」及び作品種別を朱書のこと、郵稅不足のものは受附けず

締切

康德六年十二月二十日（同日着最後便を以て嚴に締切る）

發表

康德七年（昭和十五年）一月一日本紙上、なほ賞金其他は發表後一ヶ月を經て送付す

モートル
變壓器　浴接器　サイレン　各種各容量　在庫多數有　電氣機器修理　迅速低廉　乞御照會
第一電業社
日本橋通七三　電③5169

上生菓子　洋酒類　引菓子祝餅　和洋各國煙草　本店特製　豆入大福餅
御贈答用品　御家庭用品　御用命は
ヤマト屋
中央通り　電③五九八七

質
大口歡迎
柳屋質店
和洋服は特に勉強
カメラ及公債儲蓄債劵
お電話次第御相談に應じます
吉野町二丁目平本洋行裏小路入る　電③三一五一二

わた打直しは
信用ある寢具百貨
さぬき屋製綿部へ
電③三六六三・六七三六番

＜七＞
佃煮製造
各國珍品
突出專門
新京梅ヶ枝町一ノ九（夕ー街入口）
松濤洋行
電話③六四三六番

萬古は安心して使へるペンシル

美容
御婚禮御支度（カツラ及最新流行柄振袖御需に應じます）
パーマネント（米國製シエルトン優秀パーマネント機設備）
獨特な技術設備に依る正式美容術
ヤマトホテル專屬美容部
川人美容院
祝町三ノ七（開花前）
電話③五二三八番

第一徴兵保險代理店
結婚保險・教育保險
新京敷島通四一
旭號
長崎平次郎
電話（3）三四七一〇八四

民刑事訴訟顧問及鑑定貸家貸地管理
滿洲國特許商標登錄　諸書類作成
辯護士　辨理士
黑田實法律事務所
新京朝日通三十三番地（日本橋通より西入半丁）
電話③五四四九番

日東茶園製
日東紅茶
特撰青レベル
精撰黄レベル
市内各食料品店にあります
ダージリンの香
アツサムの粋

"丸善"進出問題愈よ紛糾！

滿配への參畫案で政府、表面糊塗か

反對運動阻止に躍起

既報、丸善の滿洲に於ける洋書獨占企圖が政府筋の諒解を得てゐることが明るみに出されたことにより滿配設立關係者及び一般業者は囂然として「滿洲に甘い汁を吸ひに來た不屆きな丸善を退去せしめよ」と俄然丸善の洋書獨占反對運動を開始し各方面に連日陳情しつゝあるが、かゝる樣子を察知した政府筋では丸善の進出を全幅的に支持しては與論の惡化を招來する恐れありと、丸善の滿洲進出方針を一部變更せしめ滿配に屬せしめんとする意圖の模樣である

然し丸善が洋書獨占を以て滿配に參畫したとて事實丸善の獨占營業となる事に何ら變らず、滿配に參畫することを表面に、內實滿洲に地盤を確保する事は丸善の內地に於ける營業狀態よりみても今後業界を混亂させる事は明らかであり

在滿業者の死活問題が勃發するものと見られてゐる

丸善に與へた政府側の"言質"

疑はれるその意圖

折角滿配が成立に至つた今日何故丸善が突然既得權益尊重を口實に滿洲に進出を企てたか、これが原因は本年九月政府某高官の內地出張の際丸善の滿洲進出に口約を與へたるもの〻如く、その言質を持つて今回丸善の登場になつたものと見られる、滿配側でも洋書輸入を行ふべく過般より準備を進めてゐる矢先突然丸善の出現は意外とされて居り滿配設立に關する政府の意圖は奈邊にあるやと諒解に苦しんでゐる、現在洋書の賣上げは滿洲各個書店を通じ年額二百萬圓に達し丸善がそれを獨占するとすれば問題化するは當然であり、一方丸善の既得權益なるものは本年三月內地より社員を派遣して市場を開拓し始めた程度のものであり、從來古くから在滿營業しつゝある書店から不滿の聲が飛び出すのは充分理由のあるところとされてゐる

滿配參加を拒絕した丸善

……今更ら進出とは肯けぬ

東光書苑主談

右問題に關し滿洲に於ける洋書販賣を手廣く行つてゐる東光書苑常務守秋藏氏は次の如く語る

どうしてこの問題を知られたかは知らないが、まあ貴紙の朝刊に書いてあるやうな有樣で今さら何も云ひたくないが、政府としては滿配を滿圖にまかしてその設立を明春早々行ふものと思ひ、それのみを期待してゐたが、丸善が進出するといふことになると實際業界が騷ぐのも無理がないと思ふ今更丸善云々の問題でもあるまいと思ふ、既得權益を叫ぶ丸善も相當強心臟と思はざるを得ない、滿配參加云々は昨年の九月私が東光書苑の使命である定販を實現すべく滿配設立起案の際內地丸善の出馬を薦めたところ丸善はそれを拒絕した、その丸善が滿配設立を前にしてよもや滿洲にやつて來ようとは思つてもゐなかつた、まあ丸善としては大局を見て穩和しく內地へ歸つて滿配設立後同會社に協調して來る方が無難であると思ふ

錫慰問班長追悼會

各地の宗教及び社會事業團體を慰問中去る十一月廿日明月溝附近で殉職を遂げた錫慰問班長の追悼會は六日午後一時から協和會中央本部大講堂で開催、曲中央本部實踐科長葬儀委員長となり橋本本部長を始め各局部科長、職員並に來賓として于治安部、孫民生部兩大臣以下の日滿著名士多數列席の下に嚴肅盛大裡に行はれた

特別市整備委員會幹事會

國都に於ける一般重要物資並に勞務の需給、配給、價格を適正ならしむると共に平戰兩時に於ける軍需調達の圓滑化を圖る目的で、曩に國務院訓令によつて設置せられた新京特別市整備委員會は十六日午後二時より市公署第一會議室に幹事會を開催、新京特別市に於ける米穀、小麥粉、石炭、綿糸布の四種目の配給に對し協議を行つた結果

一、軍、學校、病院並に業者關係等特殊大口需用に對しては直接配給組合員其の他の配給組織から配給圓滑化を圖る

一、一般民需關係のものに就ては各區、町會の組織機能を發動せしめてその適正なる需給關係を保持する

ことに決定した、尙本幹事會は各種詳細なる細目に亘り

六日午後二時新京支社長平島敏夫氏が代表、軍人後援會を訪問手交した

全滿領事會議

全滿領事會議二日目六日は午前中梅津大使並に土田東亞局第一課長、三浦大使館參事官より夫々訓示があつた後正午休憩に入り、出席者一同それより大使官邸における大使主催の午餐會に臨んだが午後は一時より會議を續開、瀧山琿春領事以下各領事より夫々管內狀況報告があつて午後五時半第一日の日程を終了した

貸電話料を國防獻金

市內吉野町一丁目一六のおでん燒鳥の店田舍家の女將野村靜枝さんは去る六月から實施の電話度數制になつてから貸電話した場合料金箱に三錢づゝ入れて貰つてゐたのを六日午前本社に持參、これを國防獻金の取扱ひをして欲しいと寄託、計算してみると銀銅貨とりまぜ十七圓三十八錢あつた、よつて獻金手續を了した

軍人後援會に滿鐵寄附

滿鐵では鐵路一千キロ記念として五萬圓を軍人援護の一部に醵金することゝなり

瀕死の少女に一兵士情の輸血

＝國軍于君の美擧

雪の路上に娘のため血を求めて號泣する哀れな老婆に仁愛の心も床しく一兵士が喜んで輸血を快諾愛娘の一命を救つたといふ軍民融和の美はしい佳話がある

吹雪すさぶ去る十一月二十六日奉天市瀋陽區傳染病院附近の街路に「娘を救つて下さい」血を賣つて下さい」と道行く人の袖に縋り輸血を哀願してゐる半狂亂の老婆があつたのを日曜外出で通り合はせた第一教導騎兵團第一連騎兵上等兵于尙卿君が發見「僕が血を上げませう」と感泣する老婆を背負つて病院に馳せつけ死線を彷徨してゐた娘奉天市南三經路如心里徐鐘玉（一八）さんに輸血危くその一命を救つたばかりか娘の蘇生に狂喜感激した老母徐維新さんが謝禮として差し出す百圓の金に目もくれず少女の全快を祈つてその場を立去つたが、この模範兵士の美擧はこの程目擊者の口から治安部に齎されたので上長官も齊しく感激近く表彰することになつた【寫眞は美談の主于尙卿君】

勇躍開拓地へ

第三次青少年義勇隊昨夜過京

興亞の意氣を肩守に漲らせ開拓戰士を夢に描く本年度第三次青少年開拓義勇隊訓練生第一班二百九十五名は中隊長藤澤寅三氏に引率され團服姿も勇ましく六日午後二時四十分着列車で途中濟津まで出迎への滿拓庶務課員と共に新京入りしたが何れもはちきれんばかりの元氣で驛頭野々山滿拓訓練課長、開拓總局員等と挨拶のうち日滿兩國旗先頭に堂々市中を行進して新京神社に參拜、壯圖達成祈願をこめ國防會館に少憩、同講堂では結城開拓總局長、生駒滿拓訓練局長等から溫情あふるゝ激勵の辭をうけ、長途の疲れを癒やす暇もなく同夜十時卅分新京發列車で一路入植地北安省鐵驪に急いだ

△藤澤隊長談　第一班は東北、關東の少年たちばかりで、寒いと聞いて來たが滿洲が案外暖いので驚いてゐます、訓練所入りのあかつきは日本男兒の氣を鍛へ先にこめて大いに頑張るつもりです

尙第三次義勇奉公隊青少年は約千名で七日（三二一名鐵驪）十日（一六二名、昌圖）十一日（一六一名、昌圖、三四名哈爾濱）の順で新京入りのうへそれぞれ訓練所へ向ふことゝなつてゐる【寫眞は新京神社參拜の一行】

滿洲氷上選手全日本選手權參加中止か

全滿各スケートリンク開場と共に押寄せた愛好者の中に交つて各一流選手は連日の練習に汗たくとなつてリンク上を寒風截つて疾走、スピード選手は競技の調を目指して一擧精進、颯爽たる勇姿が見受けられる来年の新春を飾る第十回明治神宮國民體育大會スケート競技には滿洲からも大デレゲイションを送つて滿洲氷上界の威力を發揮することになつてゐるが、この時この大會に先立つて一月十九、廿、廿一日の三日間青森縣八戶長根リンクで擧行される全日本選手權大會スピード競技に滿洲選手出場の可否が最近滿洲氷上競技協會役員の間に問題視されるに至り論議の的となつてゐる

參加不可能說としては協會側經費の關係や日本選手權に滿洲選手の參加無益などが起因してゐるが、この問題も近く理事會に決定されるが結局參加しないと見る向きが多い

三軒の店以外は籾の配給お斷り

糧穀會社員の不正明るみへ

糧穀會社と市內の精米業者との間に籾の配給を續つて深刻な問題が起り市認定業者二十九軒の內九月以來糧穀會社では僅か三軒のみに對し籾の配給を行ひ他の精米業者に全然配給を行はなかつた事より配給を受けなかつた業者は結束して業者の死活問題であると產業部協和會、市公署、糧穀會社等を歷訪し業者の窮狀を陳情し續けてゐるが、右に關し問題の渦中にある糧穀會社と配給を受けてゐた業者との間に不正事件があると見て四日午後滿洲糧穀株式會社社員土井一郎（四〇）＝假名＝を瀆職收賄被疑者として取調べを行つてゐる

右は前述籾の配給に關し市內東二條通合名會社大鮮精米所、市內梅ヶ枝町王木棧＝以上何れも假名＝二店より三千圓を收賄したものと見られて居り配給統制の折柄糧穀會社がかゝる不正社員を以て重要なる業務に携はらしめた事に對して非難の的となつてゐる

閉店時間嚴守！

カフエー街の轍を踏むな……

飲食店に注意喚起

中央通署では六日午後五時本署應接間に新京飲食店組合役員二十數名の參集を求め、市原署長、森保安主任より曩に當局から一部飲食物の値上げ認可に伴つて種種注意があつた後、最近普通飲食店に於る閉店時間を無視してゐる向があり、かかることは時節柄遺憾なことゝ云はねばならない、又これが取締については種々腐心してゐる、要は業者各位の時局の認識然して自覺が肝要であるとて先のカフエー街一齊調査による痛いお灸を据ゑられるが如き前車の轍を踏まざる樣戒告したほか兩者隔意のない意見を交換して六時頃散會した

強盜犯脫走

吉林監獄に強盜犯で服役中の奉天大兵衛南胡同二號、琍文陰（二九）は五日大豐滿水力電氣工事に使役されたのを奇貨に午後六時から同七時までの間に看視員の隙を窺つて脫走行方を晦したのを看守が發見大騷ぎとなり各署に手配捜査中であるが、未だ逮捕に至らない

三笠町ボヤ

六日午後九時三笠町三丁目十三番地朝鮮料理店恩君館北側軒から發火、急報に接した消防署員の活動に依り大事に至らず同十五分鎭火した、原因は煖房用煙突の過熱からと判明しただが損害は極めて徵小である

全滿最初の榮養給食

市內虛弱兒童に溫い晝食配給

＝健全生活館のヒット

滿洲の兒童は內地の兒童に比較して虛弱であると叫ばれ、これが改善は現下教育界の重大問題として研究されつゝある折柄、市內各學校の虛弱兒童に對し榮養食を與へ體質を改善、偏食を矯正して健康の增進を圖らうと言ふ滿洲に初めて試みる榮養給食が市內錦町の健全生活館によつて去る一日から實施された、卽ち發育盛りの兒童に合理的な榮養食を與へることは保健上極めて肝要なことである、殊に晝食は午前中の活動による疲勞を恢復し且つ午後の活力を與へる重要な役割をなすもので健全生活館ではかねて榮養學上の見地に立ち合理的、經濟的調理法により虛弱の一因をなす偏食矯正と健康增進を目的に晝食を市內各小學校に配給すべく計畫中のところこの程諸般の準備なつて去る一日を期し市內各小學校に對し配給を開始した

目下配給を受けつゝある學校並に給食兒童數は室町校（五十六名）白菊校（八十名）三笠校（五十六名）西廣場校（百十六名）順天校（五十四名）八島校（五十五名）計六校四百三名であるが、これ等給食兒童はいづれも學校囑託醫或は專任醫師によつて兒童個々につき嚴密なる調査の上決定し、獻立については健全生活館長田中醫學博士並に榮養指導部長、大陸科學院研究官川上農學博士監督指導の下に斯界の權威司若部技士榮養士牛山美雄氏が擔當、次いで調理は日滿司厨士協同會長山口勇治氏が直接調理主任として采配、而して配給に對しては特別の保溫設備を有する自動車によつて迅速に配給、各校にはそれぞれ保溫庫を常置するといふその陣容に於て完璧を期してゐるものである

蓋し斯調的試行として成果に關る注目されてゐる

希望校には漸次增加

船山部長談

之について同館庶務部長船山榮七氏は次の如く語つた

先般來學校榮養給食問題については各學校當局と連絡打合せを續けて來ましたが漸く成案を得ましたので去る（一日から）給食を實施致しました、申上げるまでもなく兒童の保健問題は來るべき時代の運命を左右する重大問題でありまして、今日後等の健康を增進せしめることは一に二十年後の國家の繁榮を企圖することにほかならないことに遠大なる目的に立脚してゐるのであります、調理獻立の上に於てもそれぞれ斯界の權威者によつて合理的になされ萬全を期してゐるのであります、強調したい點は食事に當つて兒童が感謝の念を以て食べると言ふことです單に美味いとして食べるよりも感謝の念によつて食べることは（健）（康）（增）（進）に一段の效果をもたらすものでありましてこの點學校當局はもとより一般家族に於てもかうした指導訓練に充分の注意をお願ひしたい、尙現在の給食兒童數は四百餘名となつてゐますが、施設の完備と共に希望校には漸次その數も增加する方向であります

市行政區劃改正打合會議

市公署では明春早々着手される國都の行政區劃改正に伴ふ諸般の準備打合せのため七日午後一時から第一會議室で區長會議を開催する

大同學院日本視察第一班歸る

東部日本の國情を視察した大同學院中堅指導者訪日團第一班森山正教官以下二十五名は五日午後四時二十分着列車で歸京したが森山氏は語る

學生の殆んどがかつての日本留學生であるための驚異の眼で見た日本でなく聖戰下眞の日本をよく視察し認識することが出來たやうだ

同敎代表懇談會

來京中の中國回敎聯合會代表團の于淸源北京代表以下一行九名は六日午後二時半から治安部會議所で同部主催の懇談會に臨み、花井國軍高級顧問、松村少佐、植田警務司長、吳崇靈政府代表等を始め民生部、協和會興安局など關係方面から約五十名と鷲崎治安部參事の司會で「回敎徒か回敎民族か」「新東亞建設と回敎」その他極めて時局的に重要な多數事項について隔意ない懇談を遂げた、なほ一行は七日吉林水豐ダムを參觀九日新京に別れを告げて奉天に向ひ、十日阜新炭坑見學のうち十一日陸路歸國することになつてゐる【寫眞は懇談會】

「旅の恥は搔き捨てさ……」と或日の四道街司法刑事室で溝淵、出浦兩刑事が高らかに談笑してゐる、▼例の通り溝淵刑事のどら聲が隣室の益村主任の耳に聽えたか、ニヤニヤし乍らニユッと入つて來た「エロウー、面白そうげじやノウ…」と云へば「いや……今出浦さんに哈爾濱の話をしてゐた所で……」「哈爾濱はいゝ……、外國に居る樣な氣がするけいノウ……」▼「エゝ……知つてるんですか!!實はね……驛を降りてから暫く歩いたのはいゝですがね、右か左か……サッパリ見當がつかなくなつたんですよ、早速通りかゝつた馬車に飛び乘つて目貫の大通を悠々と走らしたんですが…▼イヤジヤありませんか、どうも自分の車が普通ぢやないんです……知つてるでしよ例の荷馬車に乘つてゐたつて譯ですよ……」▼旅の恥は何とやら言ひますが實にバシヤにした話ですよ

天氣と氣温
けふの天氣　北寄の風晴一時曇
きのふ氣温　最高零下一度八　最低零下七度七

淺春胡同【六】

工 清定 作　白崎 海紀（繪）

夜の女 (6)

電柱の蔭のうめき聲！

（即死か、でなければ重傷だ！）

寒さのせゐばかりでなしに、ぶるぶるふるへながら哲也が近づいて行くと、防寒帽をかむつた地上の頭が意外にもひよろひよろと動いた。

（大したことはないらしいぞ！）

彼は自分が運轉手であつたかのやうに、ほつと一安心した。そして馬車のカンテラの灯明りに、血の氣のないその老人の顔を見た。

車體が大きかつたためと言はうか、老人が幸運だつたためと言はうか、老人の身體が實に都合よく車輪の間隙にはいつて、古ぼけたインヴアネスの袖だけが、その車體の重壓を直受けにしたのであるらしい。

「しつかりするんだ！おい！」

彼は老人をはげましながら、いきなり抱き起さうとした。

「あ！痛て、て!!」

老人は右足を立てかねて顔をしかめたまま、またその場へへたばり込んでしまつた。

いままで運轉手を盛に言ひ込めてゐたルミが近づいて來た。眞蒼になつた運轉手が、もちろんそのあとについてゐた。

「まあ、小父さんだわ、この人！」

ルミの聲が突拔けた。

「之？何だつて！」

響きの物に應ずるやうに彼は聞きかへした。

「美代ちやんのお、お父さんよ。吉林のかへりにちがひないわ。お前、どうするつもりなの、ほんとに！」

新しい心の激動にあふられたルミは、目を据ゑて運轉手へつッかかつて行かうとした。

「ルミ、幸、大した怪我ぢやないらしいよ。右足をやられただけらしいんだ。」

哲也の聲に、いくぶん元氣になつた運轉手は、不自由な日本語で話しかけて來た。

「とうもすみません…。」

「僕にあやまつたつて仕樣がないよ。これから氣をつけるんだな。」

「へい、こ、これお客から……。」

運轉手は手に握つてゐた何枚かの十圓紙幣を、恐る恐るさし出した。

「何だ、客が乘つてゐたのか？たしかルーム・ランプを消してゐたぢやないか。」

しんから正直らしい運轉手を、彼はなぢるやうに、闇の中で見つめた。馬車はルミがかへしてゐた。運轉手はまた新しい過失の露顯に只管恐縮して、たてつづけにお辭儀した。

「わたし、警察こはい言ひましたが、聞きませんてした。とうもすみません。」

ルミが横合から口をはさんだ。

「とにかく病院へ運ばなくちや、凍え死ぬわ。ね、ほんとに悪いかかりあひですけど…。」

「うん、さうだつた。さ、お前も手傳ふんだ。」

ほんの暫くの停車中、寒氣を滿喫してしまつたエンヂンが、やつと調整されてスタートした。

「お客つてどんな男だつたかい？」

ルミが返事を奪ひ取つた。

「肩幅の狭い男で、黒眼鏡かけてゐなかつた？うしろ姿、何だか百さんに似てたと思ふけど……。」

「へい。アルメニヤカフエから驛行く滿洲人らしいでした。」

「まあ、アルメニヤつてお前……。」

ルミの言葉の出端は、哲也のそれに吹き飛ばされた。

「珍しいぞ。こりや揃ひも揃つた日本紙幣ばかりぢやないか。」

列車発着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時廿五分
△釜山行	八時
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時三十分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十分
△大連行	十一時十三分
△奉天行	十一時三十分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△哈爾濱行	前三時四十二分
△德惠行	五時十五分
△哈爾濱行	六時三十分
△哈爾濱行	八時十分
△哈爾濱行	九時
△哈爾濱行	後十二時五十三分
△哈爾濱行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十分
△德惠行	七時十分
△哈爾濱行	十時卅五分
△牡丹江行	十一時四十五分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時五分
△羅津行	八時卅五分
△圖們行	九時四十五分
△吉林行	後一時
△牡丹江行	三時二十分
△吉林行	七時廿五分
△淸津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時五十五分
△前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發驛	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時四十五分
△大連發	八時
△四平街發	八時四十六分
△四平街發	九時四十分
△四平街發	十時卅二分
△釜山發	十一時四十三分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時二十分
△奉天發	九時廿五分
△釜山發	九時四十五分
△奉天發	十一時三十分

◎哈爾濱方面より

發驛	時刻
△德惠發	前零時三十分
△哈爾濱發	二時十分
△哈爾濱發	六時五十四分
△牡丹江發	七時四十四分
△哈爾濱發	十一時三十分
△德惠發	後十二時五十分
△哈爾濱發	一時三十分
△哈爾濱發	三時十分
△哈爾濱發	六時四十分
△哈爾濱發	九時三十分
△哈爾濱發	十一時三十分

◎圖們方面より

發驛	時刻
△淸津發	前七時五十三分
△吉林發	十一時廿四分
△牡丹江發	後二時十分
△吉林發	五時廿一分
△圖們發	八時四十分
△羅津發	九時三十分
△吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發驛	時刻
△前郭旗發	十一時一分
△白城子發	後六時卅二分
△白城子發	九時五分